



2025年12月期通期
決算説明資料

2026年2月13日

株式会社セレス | 東証プライム[3696]

- 01. 2025年連結決算の概要
 - 02. 2025年各事業の業績
 - モバイルサービス事業
 - フィナンシャルサービス事業
 - 03. 中期経営計画2030（5か年）
 - 04. 2026年業績予想
- APPENDIX

売上高

296億円

前年比 + 7.1%

- **ポイントが前年比 + 39.4%と大幅増収**しけん引
- D2C・MQ減収やゆめみ連結除外の影響を受けながらも過去最高の売上高を更新

EBITDA※

53億円

前年比 + 71.4%

- **モッピーにおいて金融案件好調・会員数増加**
- 暗号資産相場低迷の影響を受け、MQ・BBが収益減
- 子会社ゆめみ株式の譲渡益約27億円を計上

事業の選択と集中

- **事業シナジーが限定的であった子会社ゆめみを譲渡**
- Point Income、サイバー・バズ（持分法適用関連会社化）D2C領域2社のグループ会社化

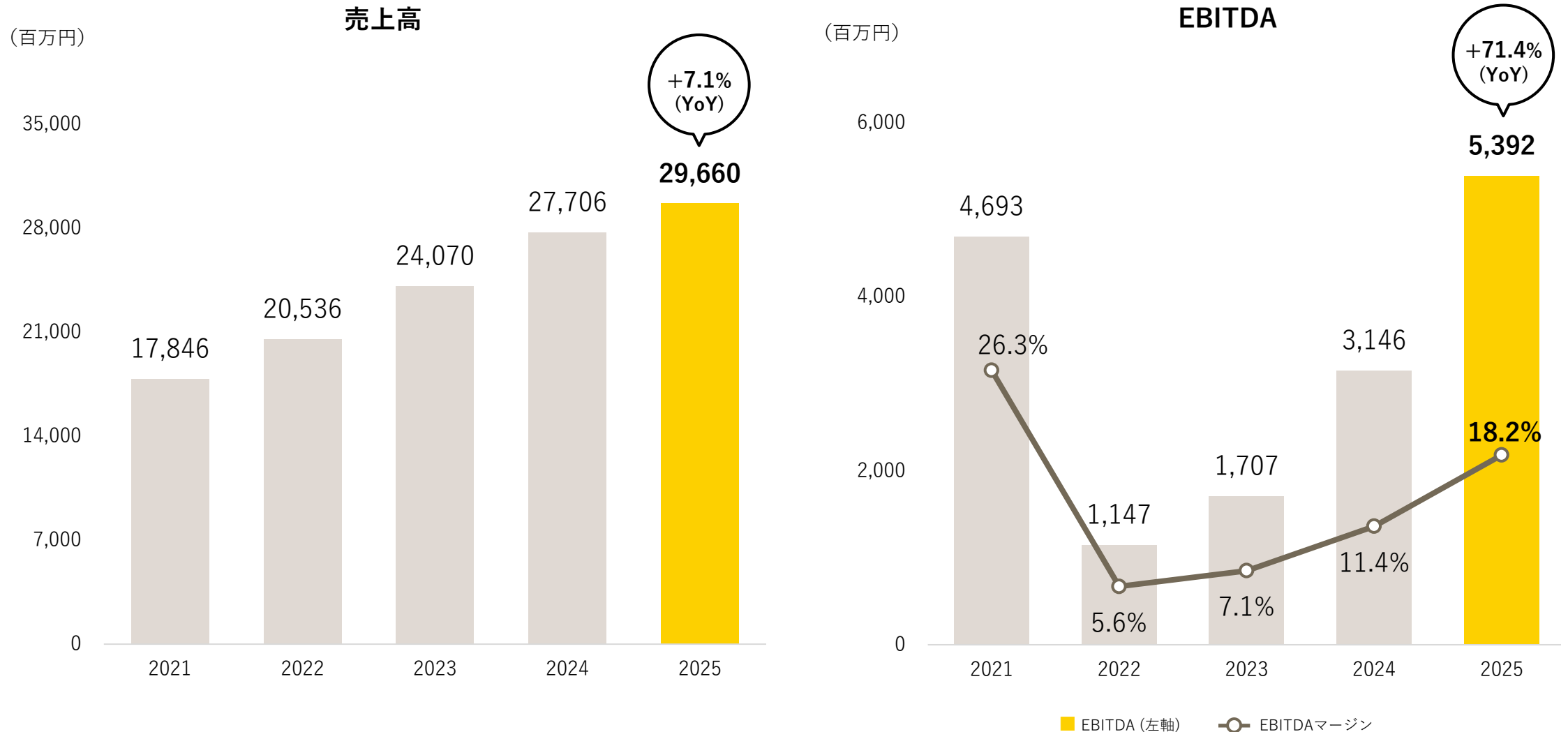
新中期経営計画を発表

- 事業の選択と集中・暗号資産相場の低迷により2021年12月に発表した中期経営計画を取り下げ
- 中期経営計画2030（5か年）を新たに発表
売上高600億円、EBITDA120億円、ROE15%を目標に掲げる

※ EBITDA = 税金等調整前当期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算) + 減損損失

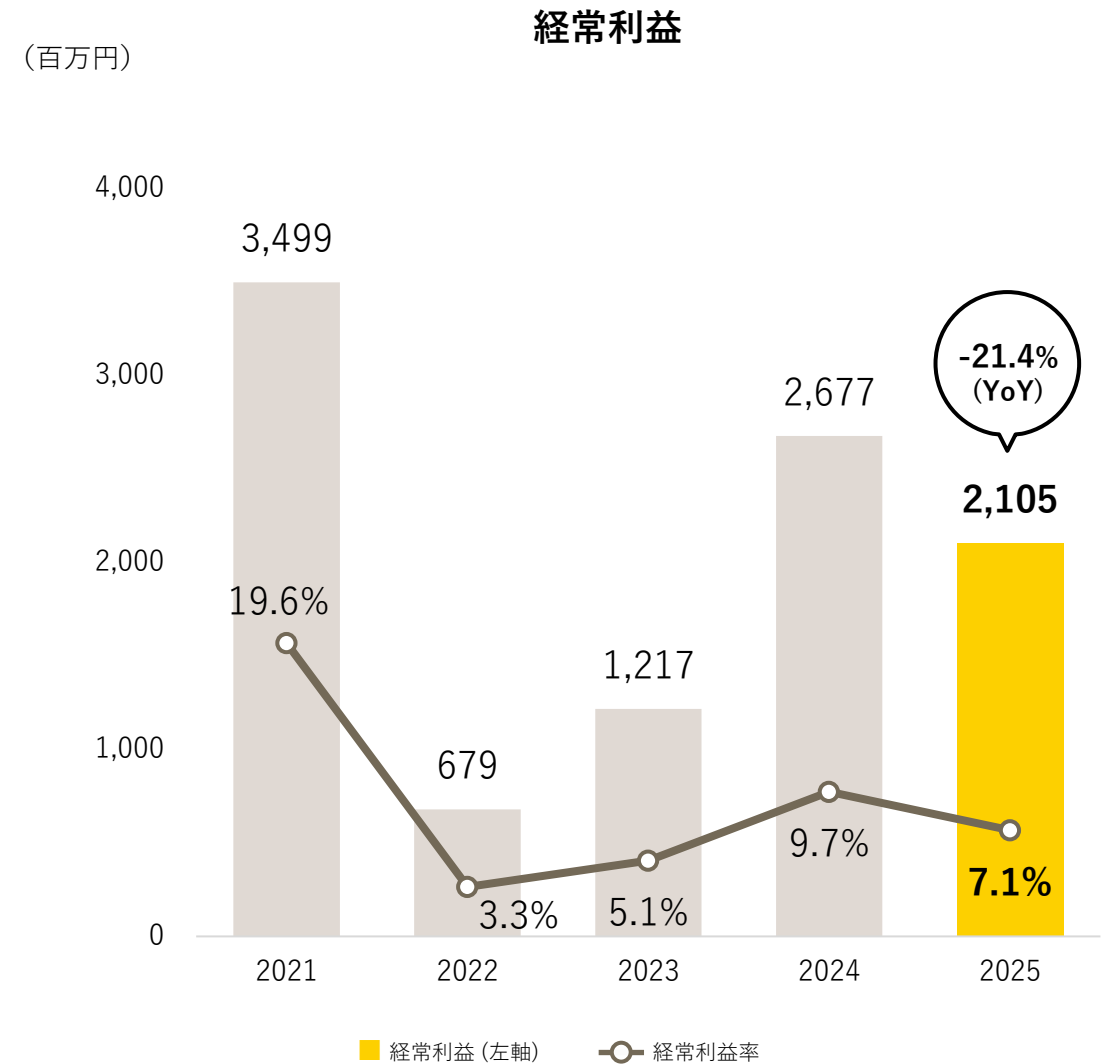
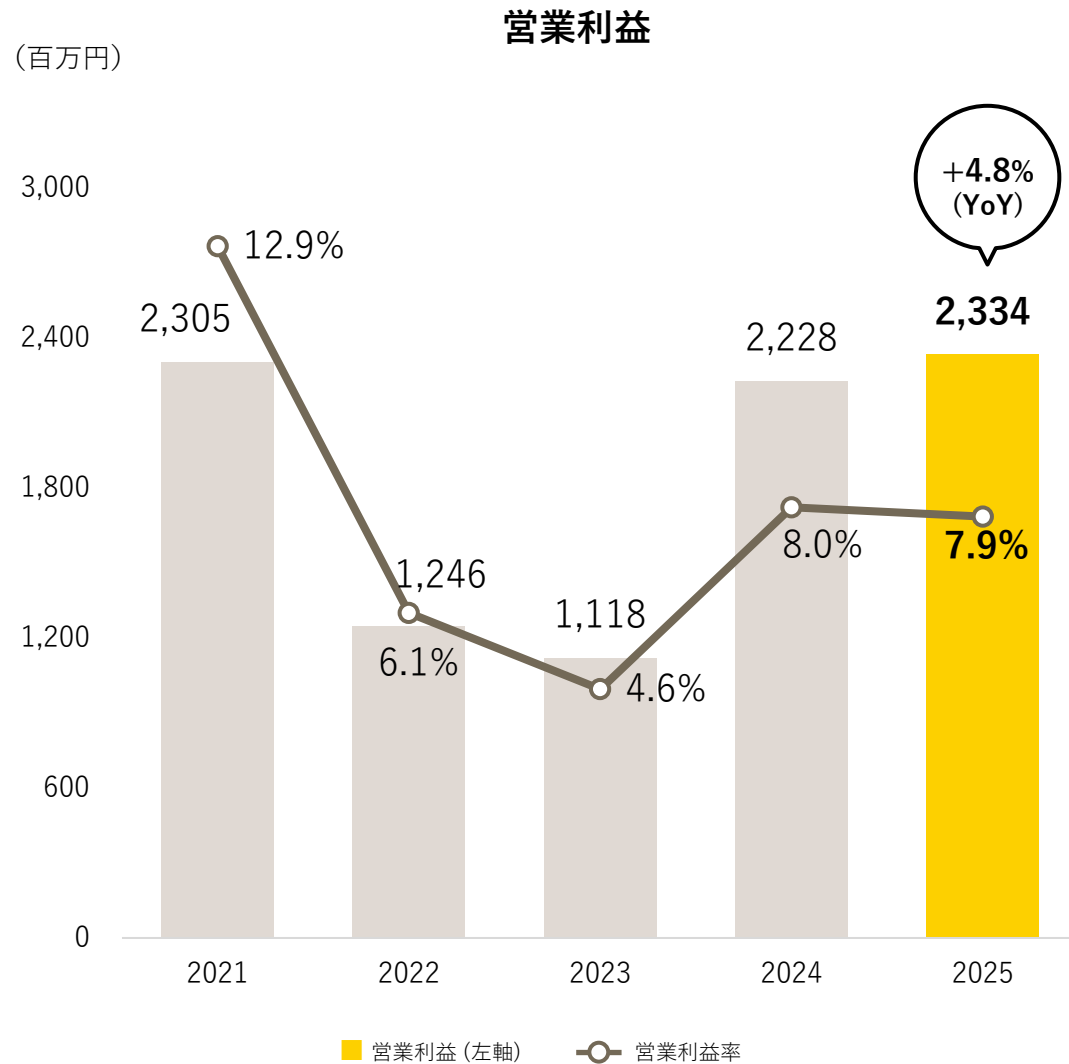
売上高・EBITDAの推移

- 売上高はD2C・MQ減収、ゆめみ連結除外の影響を受けるも、ポイント大幅増収で過去最高
- EBITDAはポイント大幅増益・ゆめみ売却益により、暗号資産相場低迷の影響をカバーし拡大



営業利益・経常利益の推移

- 営業利益はD2C・MQ減益の一方で、ポイント大幅増益で前期比横ばい
- 経常利益はBBが前年の472百万円の利益貢献から当期は約200百万円の損失計上に



01. 2025年連結決算の概要

(単位：百万円)	2025年12月期	2024年12月期	YoY
売上高	29,660	27,706	+7.1%
売上総利益	13,017	13,335	-2.4%
販売費及び一般管理費	10,682	11,107	-3.8%
営業利益	2,334	2,228	+4.8%
経常利益	2,105	2,677	-21.4%
当期純利益※1	2,497	1,480	+68.6%
EBITDA※2	5,392	3,146	+71.4%

ゆめみ連結除外の影響

2024年12月期業績はゆめみ12か月分を、2025年12月期業績は同6か月分をそれぞれ含みます

※1 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を示します。

※2 EBITDA = 税金等調整前当期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算) + 減損損失

業績予想に対する達成状況



(単位：百万円)	2025年12月期	期初業績予想	修正業績予想 (2025年5月30日)	達成率 (修正業績予想比)
売上高	29,660	30,700	28,400	104.4%
EBITDA	5,392	3,950	6,050	89.1%
営業利益	2,334	3,000	2,850	81.9%
経常利益	2,105	3,400	3,250	64.8%
当期純利益	2,497	2,100	3,350	74.5%

- 修正業績予想は、子会社ゆめみが2025年3Q以降連結除外となった影響を反映
- 売上高は、D2C・MQが予想比下振れで推移した一方、ポイントが予想を上回り過去最高で着地
- 営業利益は、ポイントが予想比上振れで推移した一方、D2C及びMQが予想比下振れ未達
- 経常利益は、期初予想に暗号資産相場の上昇を織り込んだものの
BBが主として扱うアルトコインの相場低迷のため、損失計上し予想比下振れ

セグメント別業績（年度）



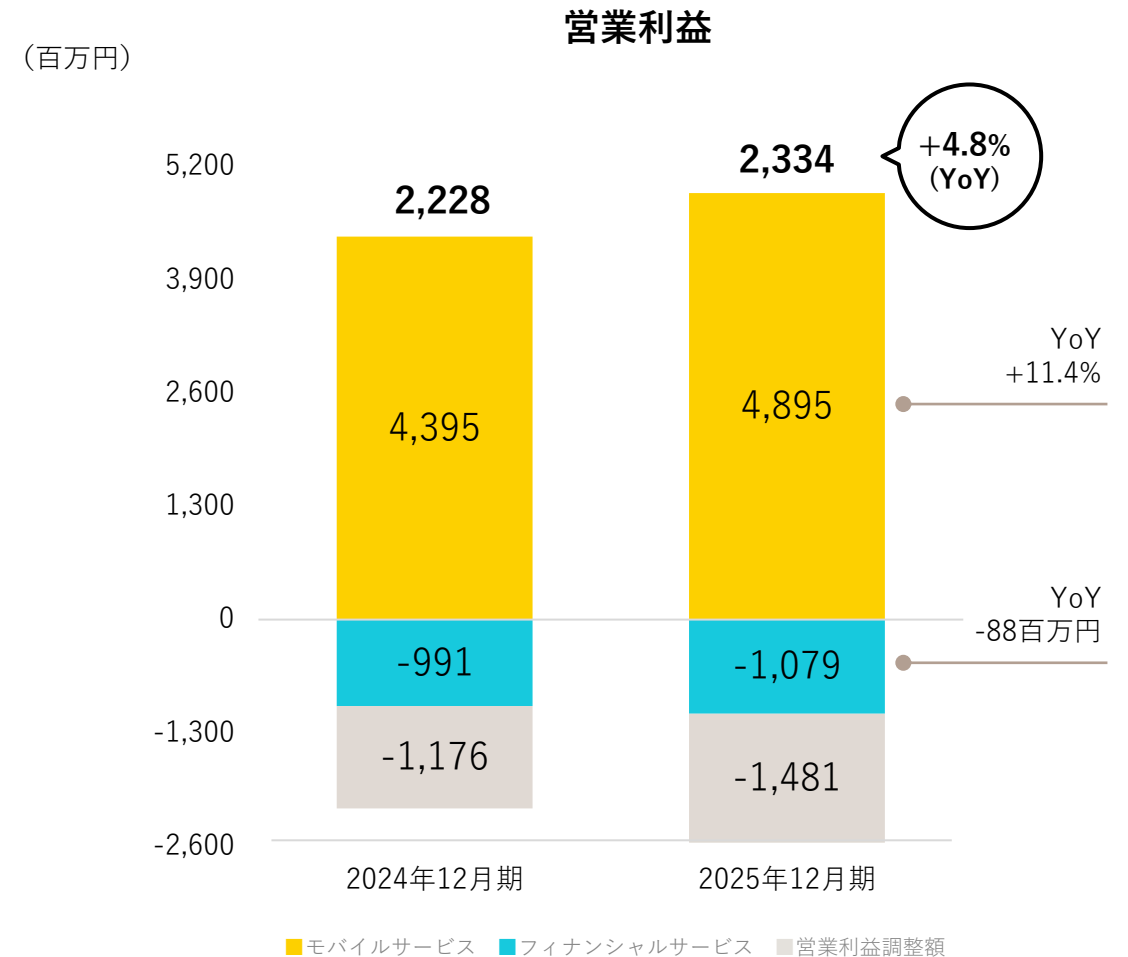
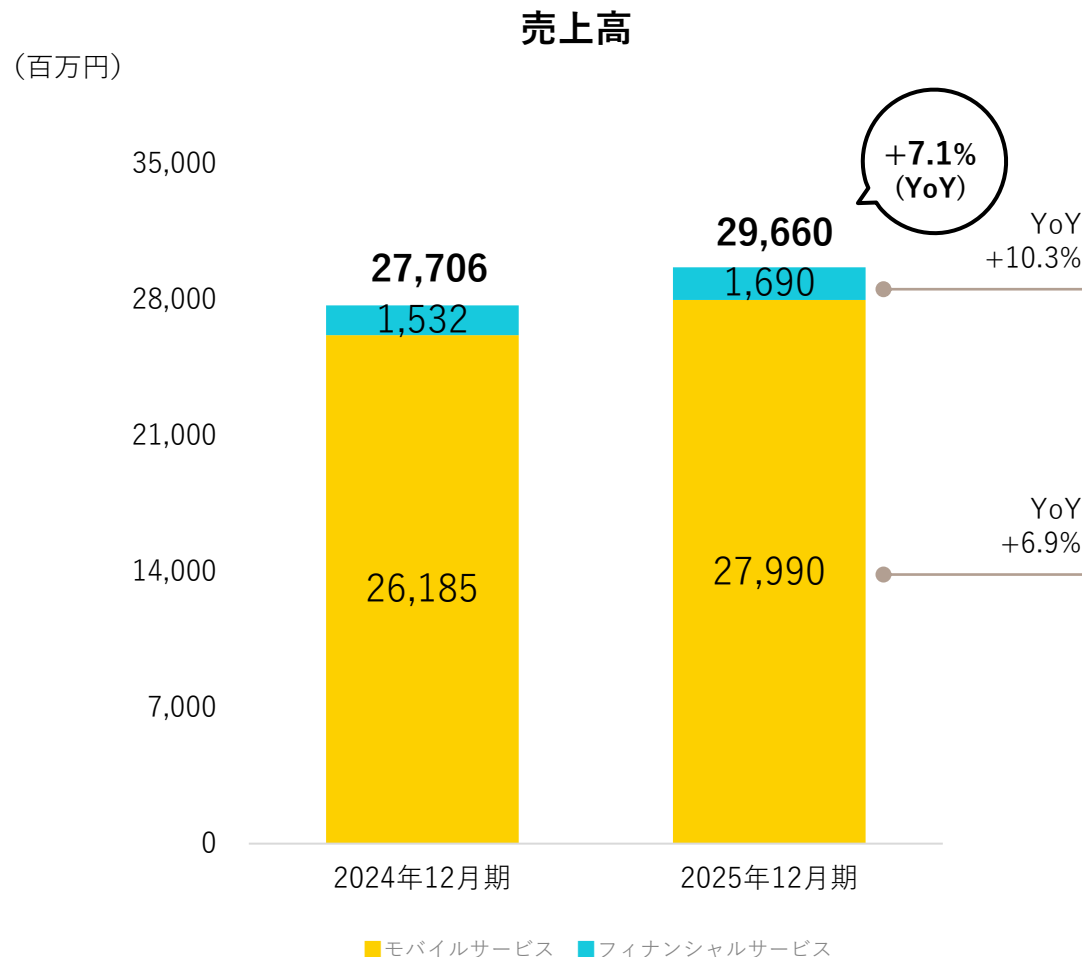
(単位：百万円)	売上高			営業利益		
	2025年12月期	YoY	2024年12月期	2025年12月期	YoY	2024年12月期
全社	29,660	+7.1%	27,706	2,334	+4.8%	2,228
モバイルサービス事業	27,990	+6.9%	26,185	4,895	+11.4%	4,395
ポイント	20,080	+39.4%	14,405	4,359	+38.6%	3,145
D2C	4,867	-30.8%	7,035	107	-88.5%	932
DX	3,153	-35.2%	4,865	599	+34.4%	446
セグメント内取引高	-111	-	-120	-171	-	-129
フィナンシャルサービス事業	1,690	+10.3%	1,532	-1,079	-	-991
セグメント間取引高 / 調整額	-20	-	-11	-1,481	-	-1,176

ゆめみ連結除外の影響

2024年12月期業績はゆめみ12か月分を、2025年12月期業績は同6か月分をそれぞれ含みます

セグメント情報（年度）

- モバイルはポイントがけん引し、ゆめみ連結除外も売上高・営業利益ともに過去最高
- フィナンシャルは暗号資産相場低迷により赤字幅拡大も、ラボルの大幅増収増益が寄与



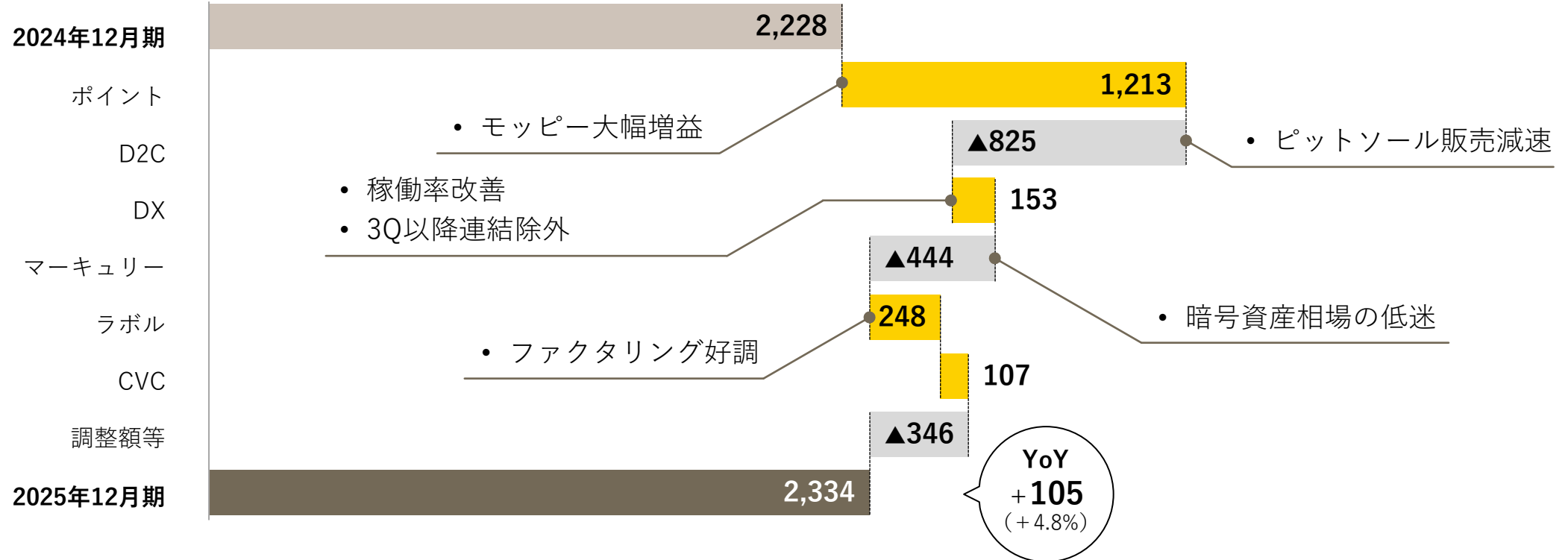
※ セグメント間の内部取引高については、グラフに与える影響が軽微のため表記しておりません。
※ DX（ゆめみ）は売却により2025年3Qから連結除外になりました。

※ 営業利益調整額は特定のセグメントに帰属しない費用項目です。
※ DX（ゆめみ）は売却により2025年3Qから連結除外になりました。

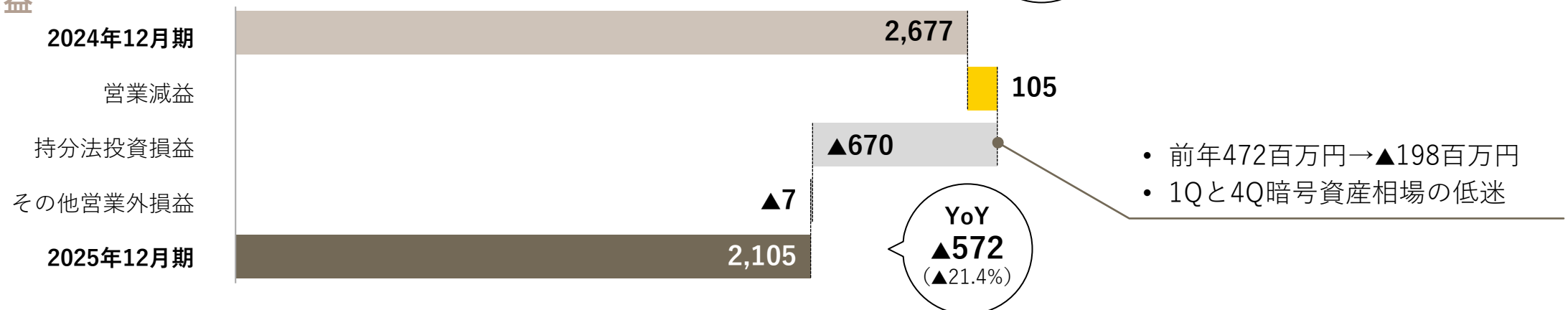
営業利益・経常利益の増減要因（年度）

（百万円）

営業利益



経常利益



損益計算書の概要（第4四半期）



(単位：百万円)	第4四半期	前年同期	YoY	前四半期	QoQ
売上高	7,391	7,488	-1.3%	6,414	+15.2%
売上総利益	3,153	3,609	-12.6%	3,011	+4.7%
販売費及び 一般管理費	2,763	2,811	-1.7%	2,529	+9.2%
営業利益	390	798	-51.1%	481	-19.0%
経常利益	281	1,153	-75.6%	754	-62.7%
四半期純利益※	105	635	-83.3%	839	-87.4%
EBITDA	479	1,314	-63.5%	1,350	-64.5%

ゆめみ連結除外の影響

2024年12月期業績はゆめみ3か月分を含みますが、2025年12月期業績には連結除外により含まれていません

※ 四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を示します。

セグメント別業績（第4四半期）



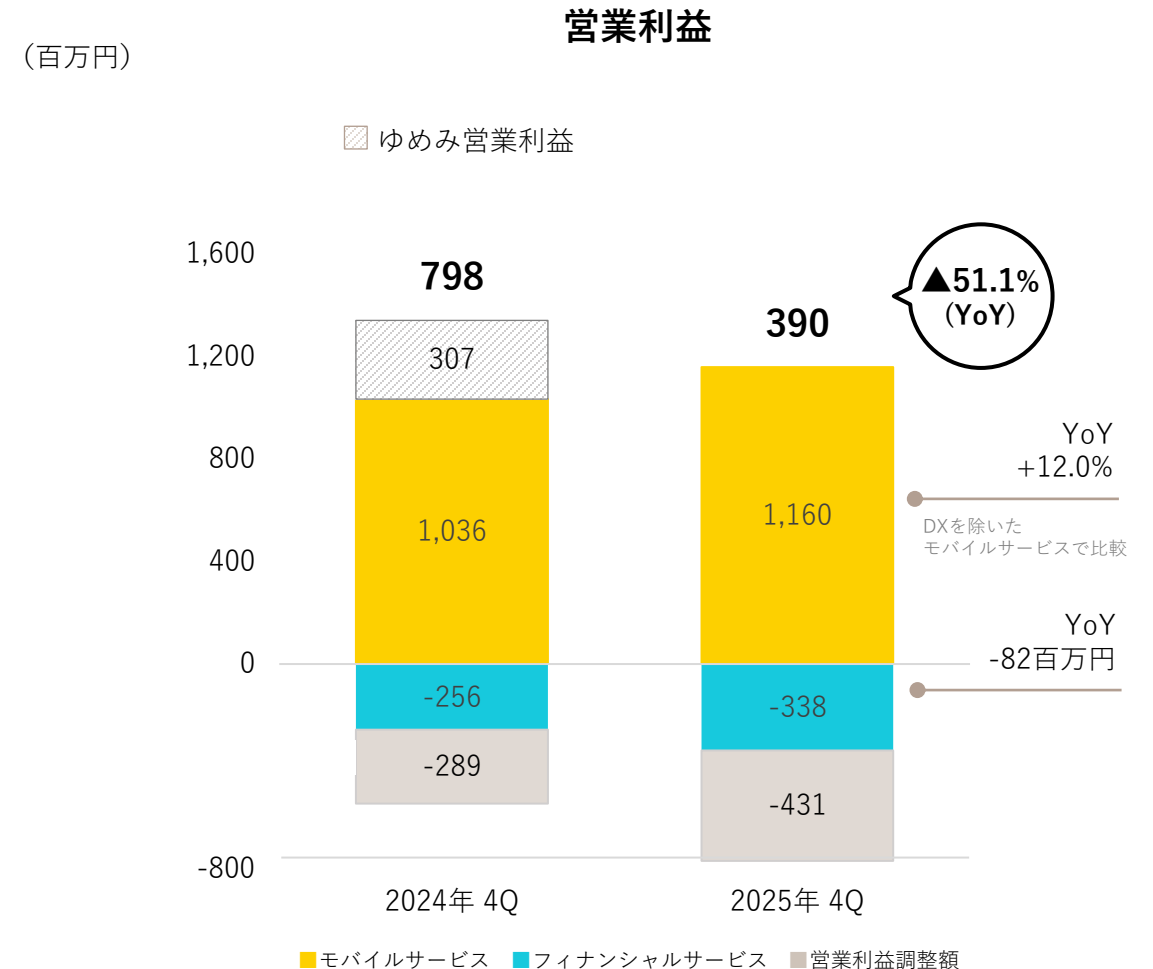
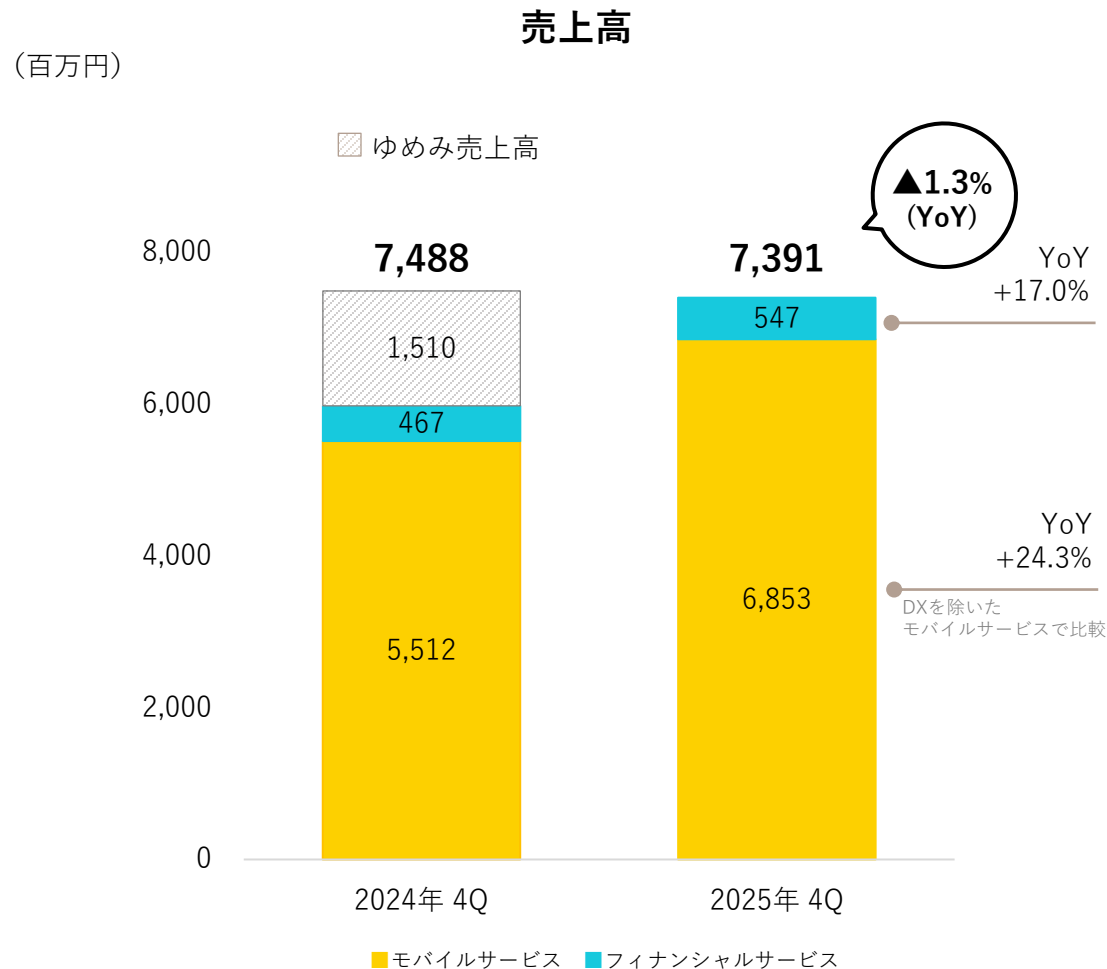
(単位：百万円)	売上高			営業利益		
	第4四半期	YoY	前年同期	第4四半期	YoY	前年同期
全社	7,391	-1.3%	7,488	390	-51.1%	798
モバイルサービス事業	6,853	-2.4%	7,022	1,160	-13.6%	1,343
ポイント	5,862	+49.4%	3,924	1,236	+41.5%	874
D2C	1,005	-37.1%	1,597	-32	-	193
DX	-	-	1,510	-	-	307
セグメント内取引高	-14	-	-10	-43	-	-32
フィナンシャルサービス事業	547	+17.0%	467	-338	-	-256
セグメント間取引高 / 調整額	-9	-	-1	-431	-	-289

ゆめみ連結除外の影響

2024年12月期業績はゆめみ3か月分を含みますが、2025年12月期業績には連結除外により含まれていません

セグメント情報（第4四半期）

- モバイルはポイント増収増益もゆめみ連結除外・D2C商品販売減速で前年比減収減益
- フィナンシャルはラボルGMV前年比2.6倍も、暗号資産相場低迷により前年比増収赤字幅拡大

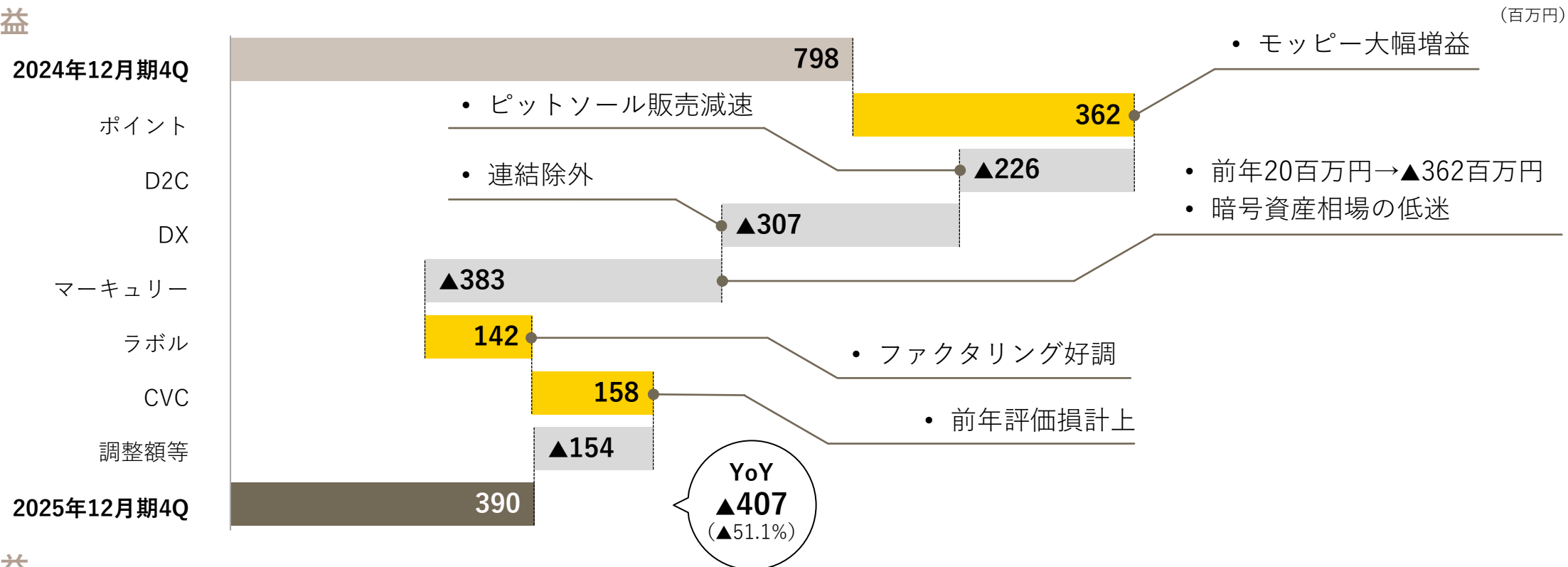


※ セグメント間の内部取引高については、グラフに与える影響が軽微のため表記しておりません。
※ DX（ゆめみ）は売却により2025年3Qから連結除外になりました。

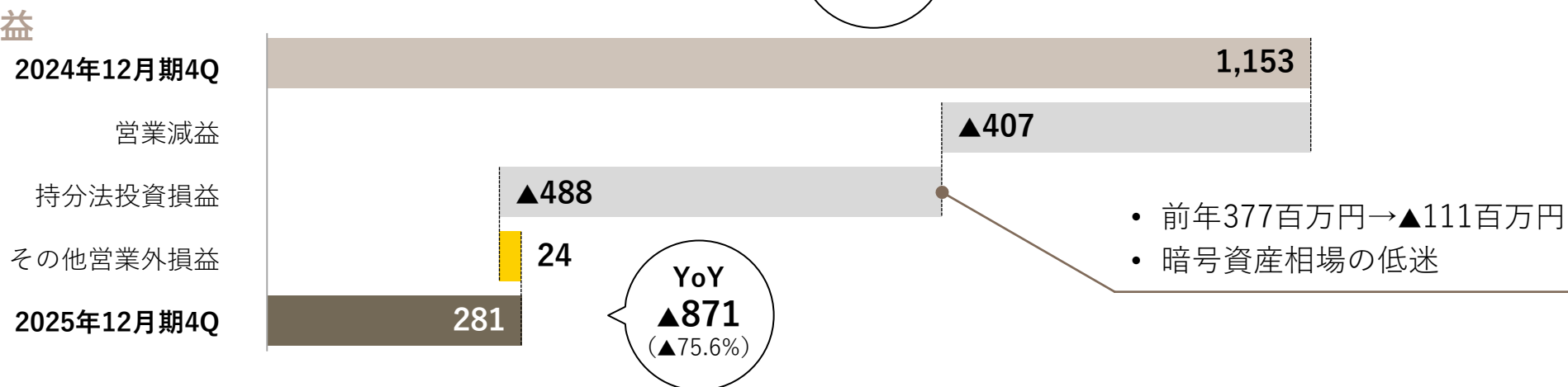
※ 営業利益調整額は特定のセグメントに帰属しない費用項目です。
※ DX（ゆめみ）は売却により2025年3Qから連結除外になりました。

営業利益・経常利益の増減要因（第4四半期）

営業利益



経常利益



貸借対照表の概要



(単位：百万円)	2025年12月期 期末	2024年12月期 期末	前年増減額	主な要因	
流動資産	25,777 (68.7%)	23,850 (72.3%)	+1,927	現金及び預金 +1,503 商品在庫 -228	増加要因 Point Income +772 DINETTE +376 イシス +213 ゆめみ ▲313
固定資産	11,726 (31.3%)	9,125 (27.7%)	+2,600	のれん +866 関係会社株式 +318 繰延税金資産 +650 その他の無形固定資産 +813	増加要因 Point Income会員資産 +625
資産合計	37,504 (100.0%)	32,976 (100.0%)	+4,528		
流動負債	20,418 (54.4%)	16,852 (51.1%)	+3,566	短期借入金※ +243 未払法人税等 +1,194 ポイント引当金 +2,657	増加要因 モッピー +1,085 Point Income +1,571
固定負債	3,121 (8.3%)	3,402 (10.3%)	-281	長期借入金 -342	
負債合計	23,540 (62.8%)	20,254 (61.4%)	+3,285		
純資産合計	13,964 (37.2%)	12,721 (38.6%)	+1,242	当期純利益 +2,497 配当金 -690	
負債・純資産合計	37,504 (100.0%)	32,976 (100.0%)	+4,528		

※短期借入金は1年以内返済予定の長期借入金を含みます。

(単位：百万円)	2025年12月期	2024年12月期	2025年12月期 内訳
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,670	722	税金等調整前当期純利益 4,620 減価償却費・のれん償却額 493 ポイント引当金の増加 1,058 関係会社株式売却益 -2,760 法人税等の支払額 -1,132
投資活動によるキャッシュ・フロー	743	-518	関係会社株式の取得による支出 -586 子会社株式の売却による収入 2,158 子会社株式の取得による支出 -173 事業譲受に伴う支出 -200
財務活動によるキャッシュ・フロー	-820	3,266	有利子負債の増加 -366 株主還元（配当） -690
現金及び現金同等物の期末残高	13,114	11,520	

株主還元

	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期
年間配当金	40円	20円	20円	60円 (うち記念配当20円)	80円 (うち特別配当20円)
配当金総額	449百万円	227百万円	228百万円	690百万円	923百万円
配当性向	15.9%	484.9%	50.5%	46.5%	36.9%
純資産配当率	5.7%	2.5%	2.5%	6.8%	7.5%

株主優待

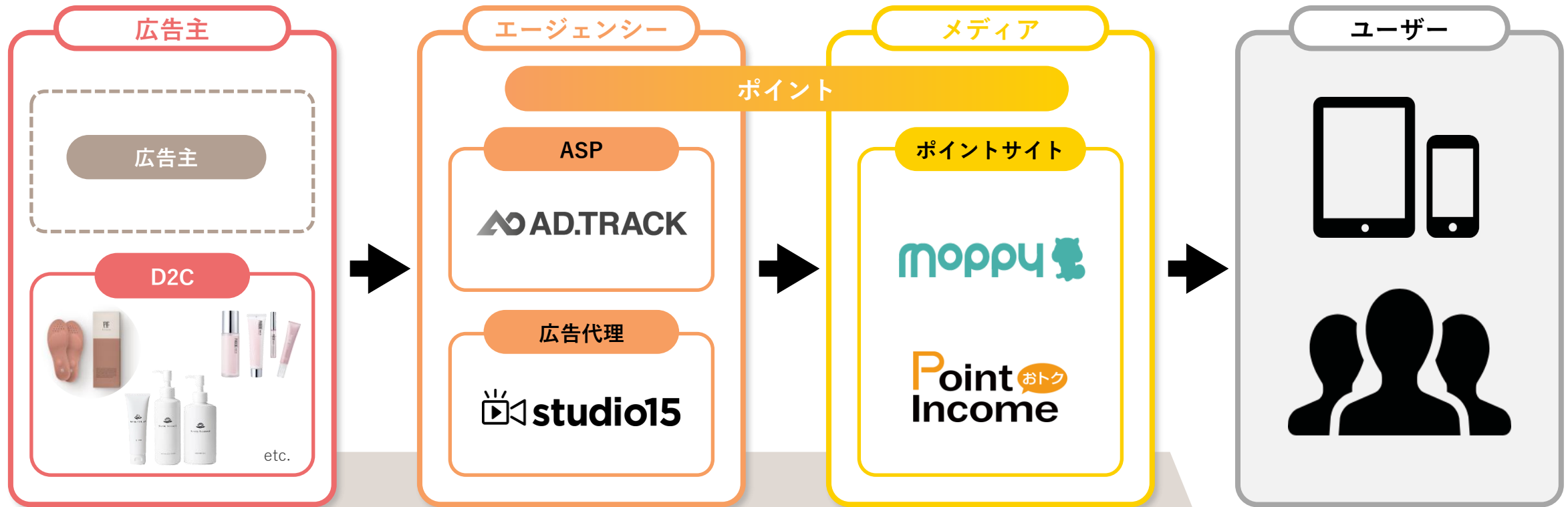
	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期
株主優待内容	—	—	—	100株以上 暗号資産 10,000円 相当	100株以上300株未満 暗号資産 5,000円 相当 300株以上 暗号資産 20,000円 相当

02. 2025年各事業の業績

モバイルサービス事業

フィナンシャルサービス事業

- 競争力の高いメディアを活かし、D2C・エージェンシー（広告代理）をグループ内で一気通貫するビジネスモデルを構築

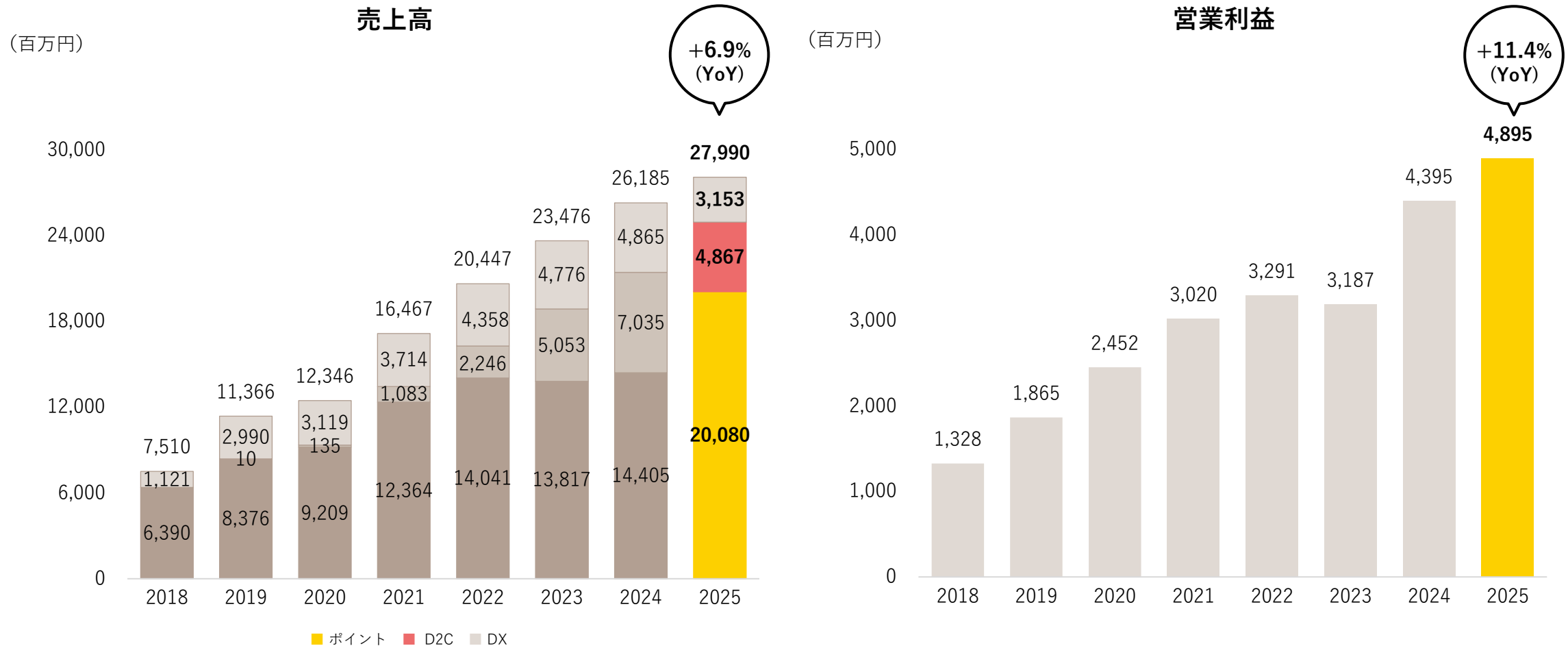


垂直統合型モデル

モバイルサービス事業における**垂直統合型モデル**を強化することで
利益率を高め、競争優位性を確立

モバイルサービス事業の業績推移（年度）

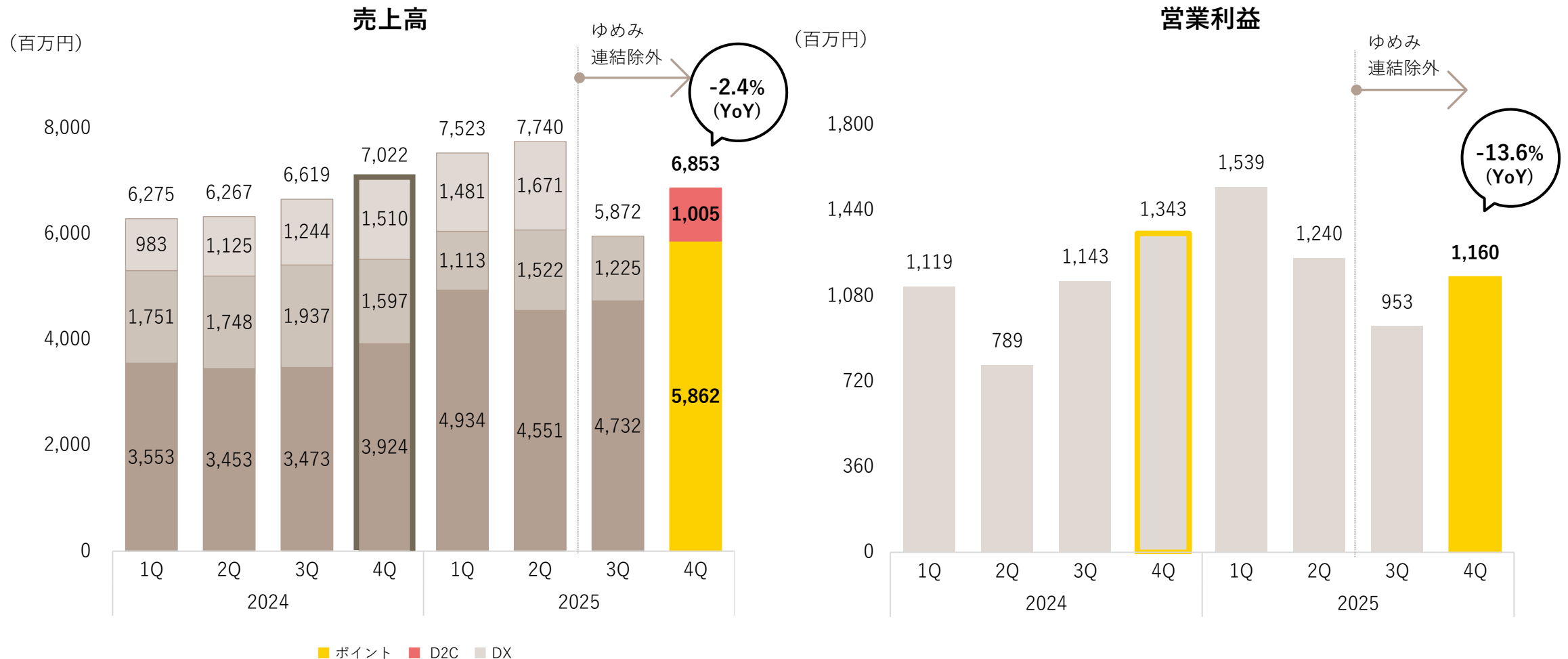
- 売上高はポイントが好調に推移し、D2C減収やDX連結除外の影響を吸収し過去最高
- 営業利益はD2Cの主力商品販売減速で減益も、ポイント大幅増益で前年比+11.4%



※ 2021年度以前の売上高は新収益認識基準等を遡及適用したと仮定した数値で記載しております。
※ セグメント内区分の変更により2021年度以前のモバイルサービス事業の内訳を修正して記載しております。
※ セグメント内の内部取引高については、グラフに与える影響が軽微のため表記しておりません。
※ Point Incomeの業績は2025年9月1日から「ポイント」に含みます。

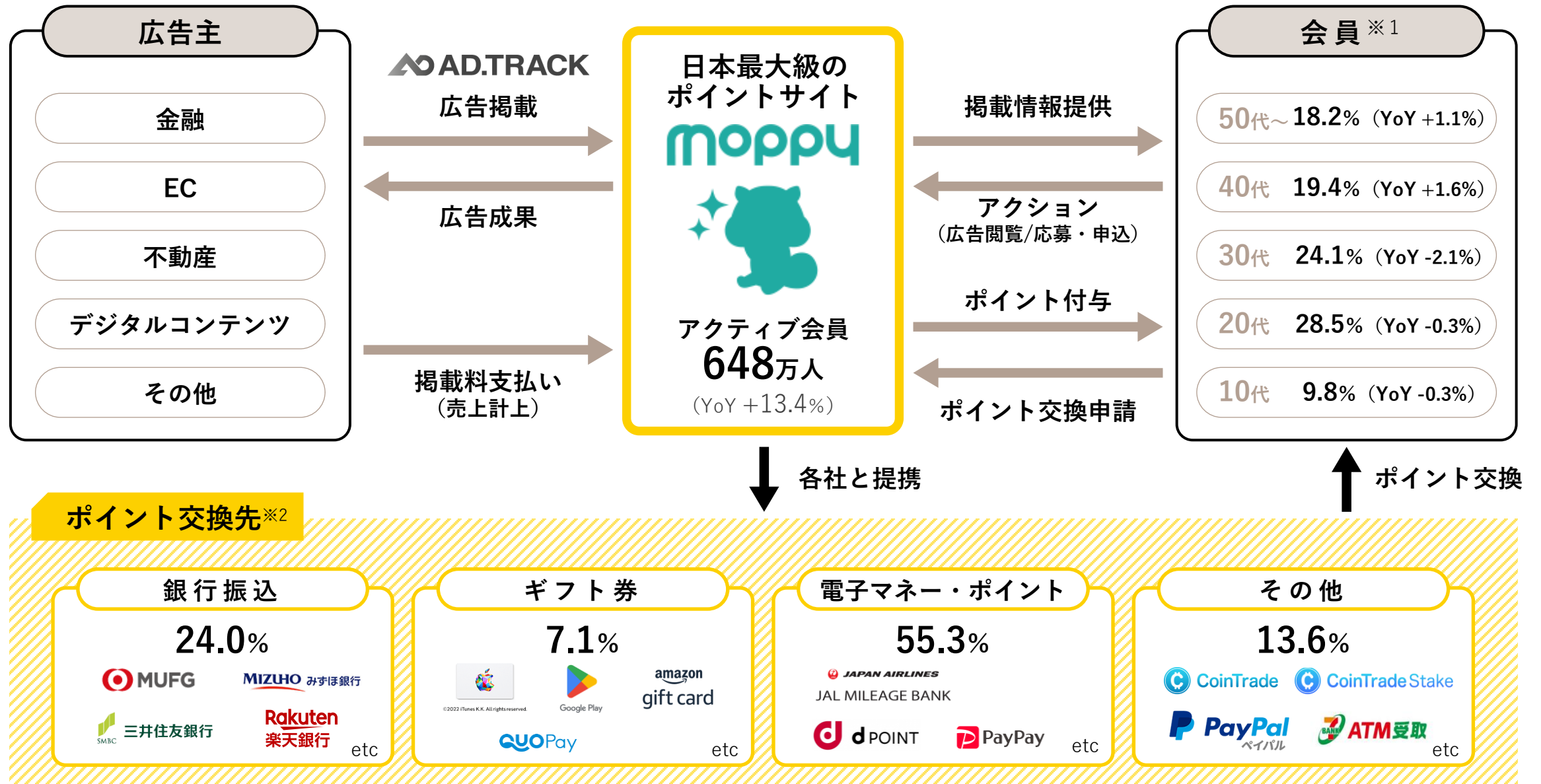
モバイルサービス事業の業績推移（四半期）

- 前年DX除いた売上高は前年比+24.4%、ポイントがモッピー好調で前年比1.5倍増収
- 前年DX除いた営業利益は前年比+12.0%、D2Cが主力商品販売減速により前年比減益



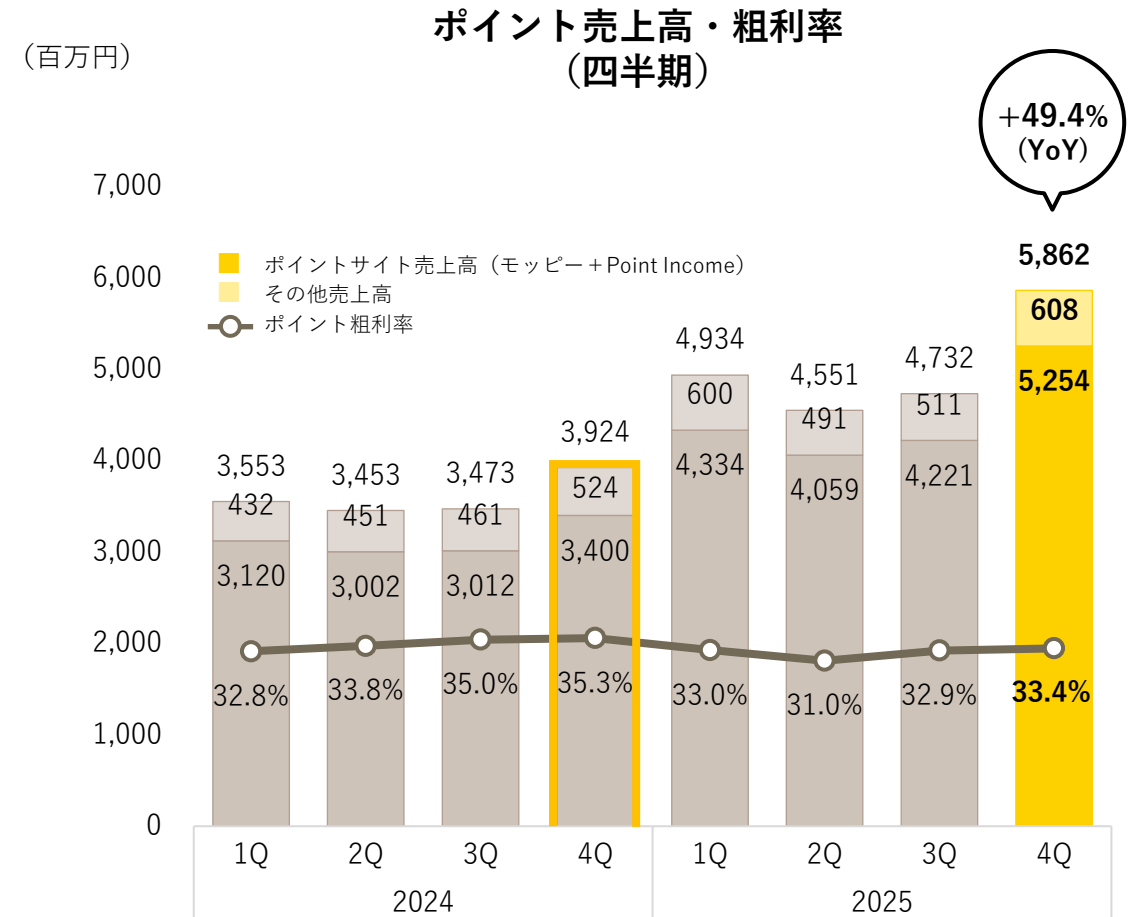
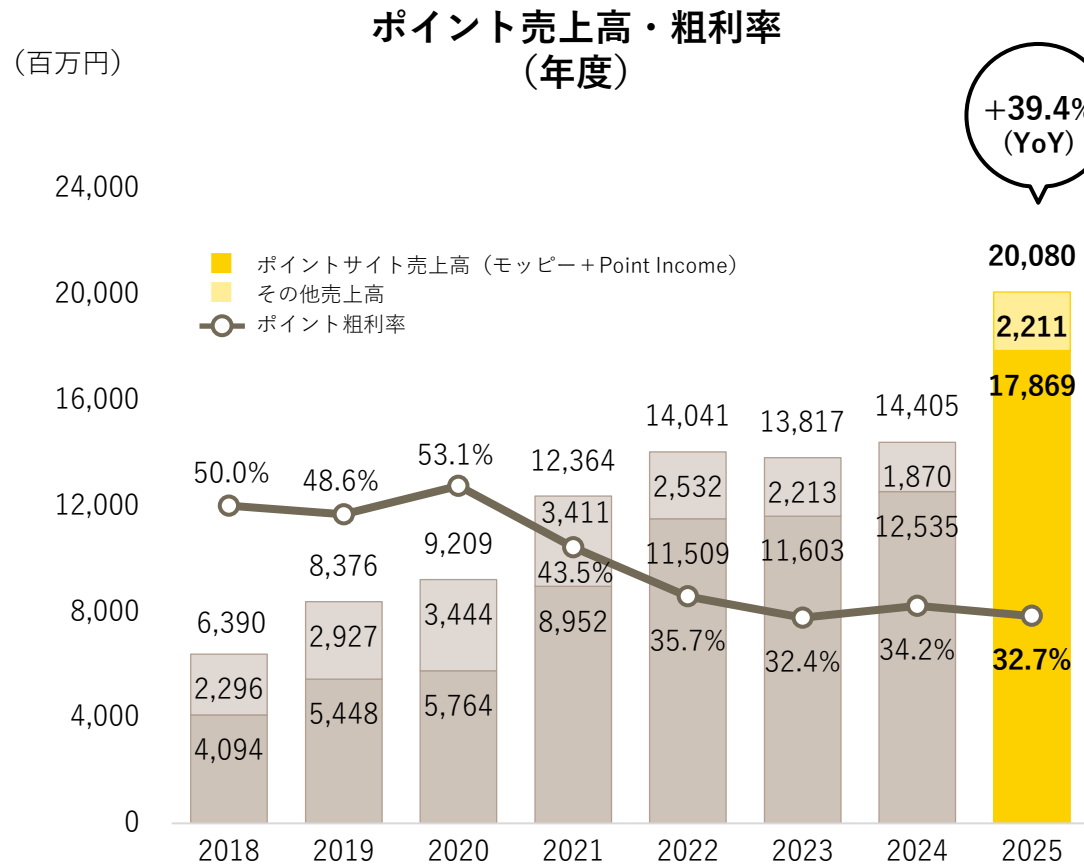
※ セグメント内の内部取引高については、グラフに与える影響が軽微のため表記しておりません。
※ Point Incomeの業績は2025年9月1日から「ポイント」に含みます。

モッピーのビジネスモデル



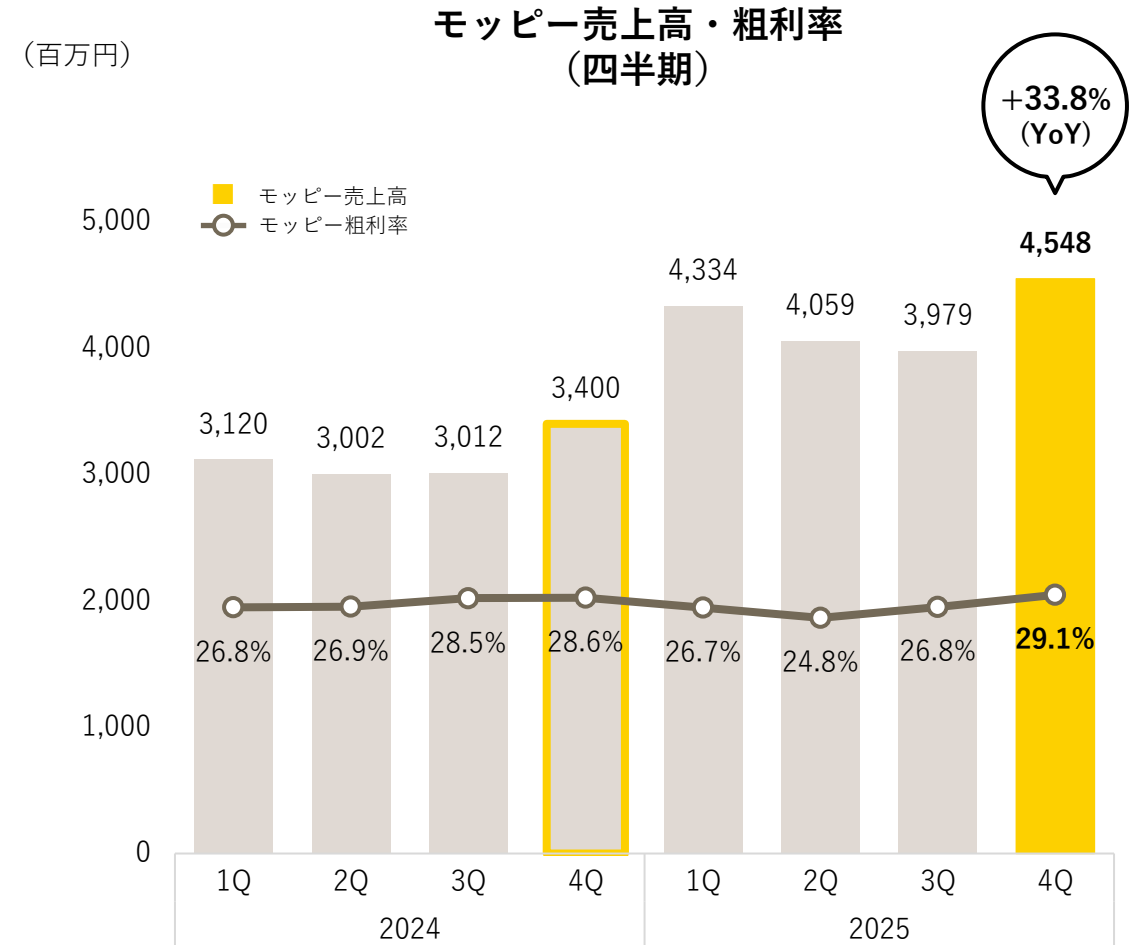
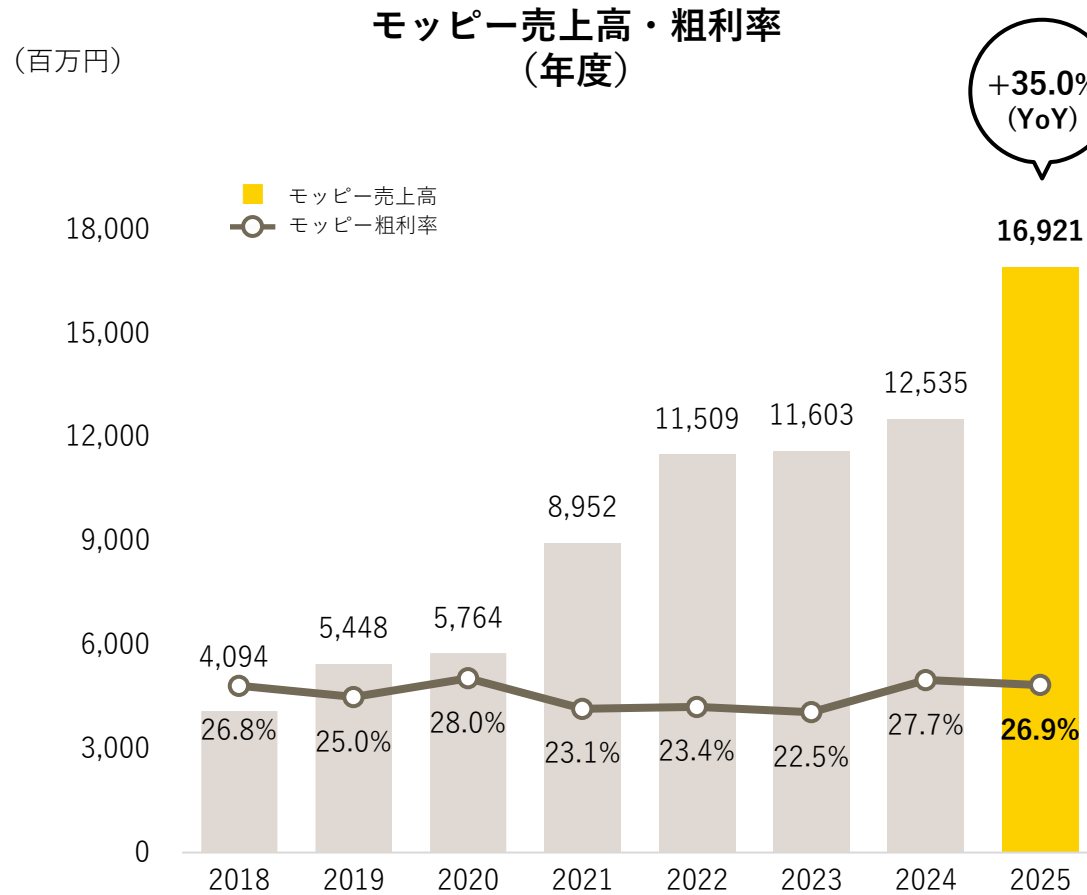
※1 2025年12月末日時点の割合
※2 2025年10～12月に発生したポイント交換割合

- 通期はポイントサイト好調に加え、AD.TRACK・不動産の営業力強化で前年比1.4倍
- 四半期はモッピー好調に加えPoint Incomeグループ化が寄与し、前年比1.5倍



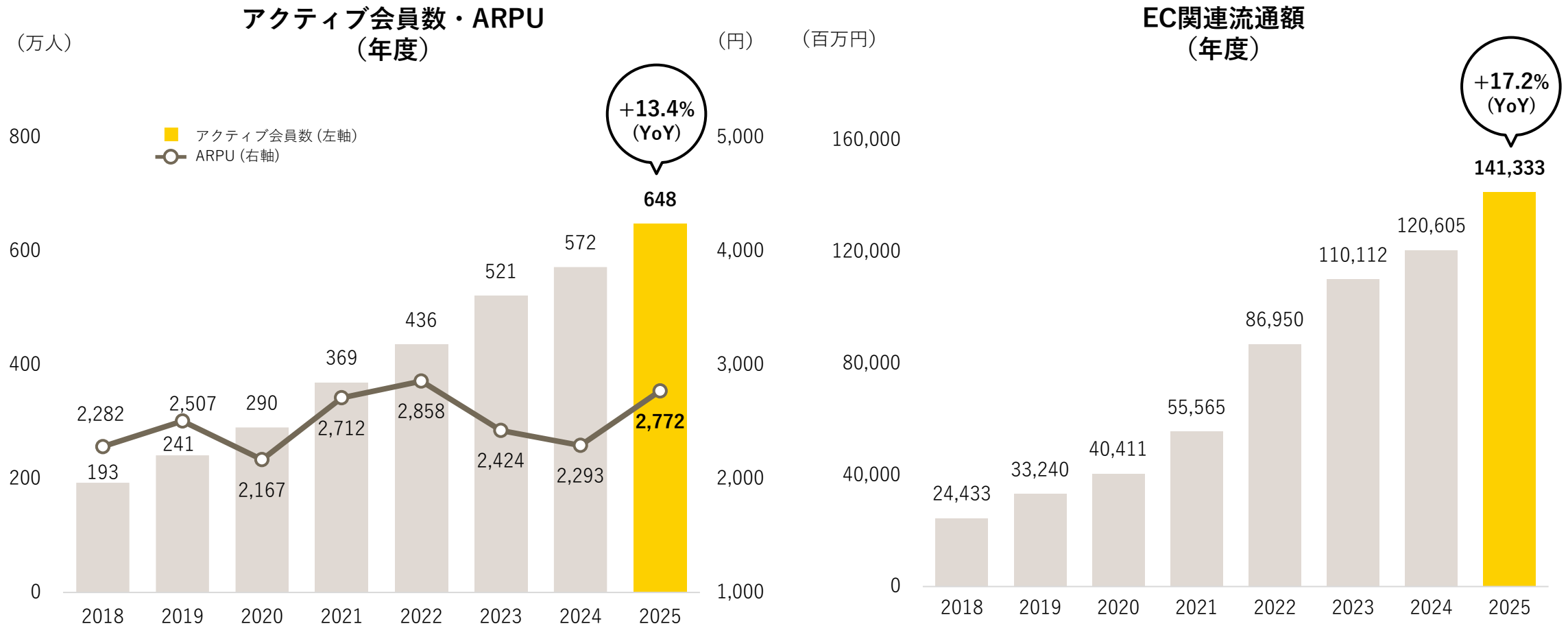
※ 2021年度以前の売上高は新収益認識基準等を遡及適用したと仮定した数値で記載しております。
 ※ セグメント内区分の変更により2021年度以前のモバイルサービス事業の内訳を修正して記載しております。
 ※ セグメント内の内部取引高については、グラフに与える影響が軽微のため表記しておりません。
 ※ Point Incomeの業績は2025年9月1日から「ポイント」に含みます。

- 金融機関の大規模広告予算がモッピーの売上増だけでなく良質案件による会員獲得増に寄与
- ポイントサイトとAD.TRACK連携強化により収益性が改善し四半期粗利率上昇



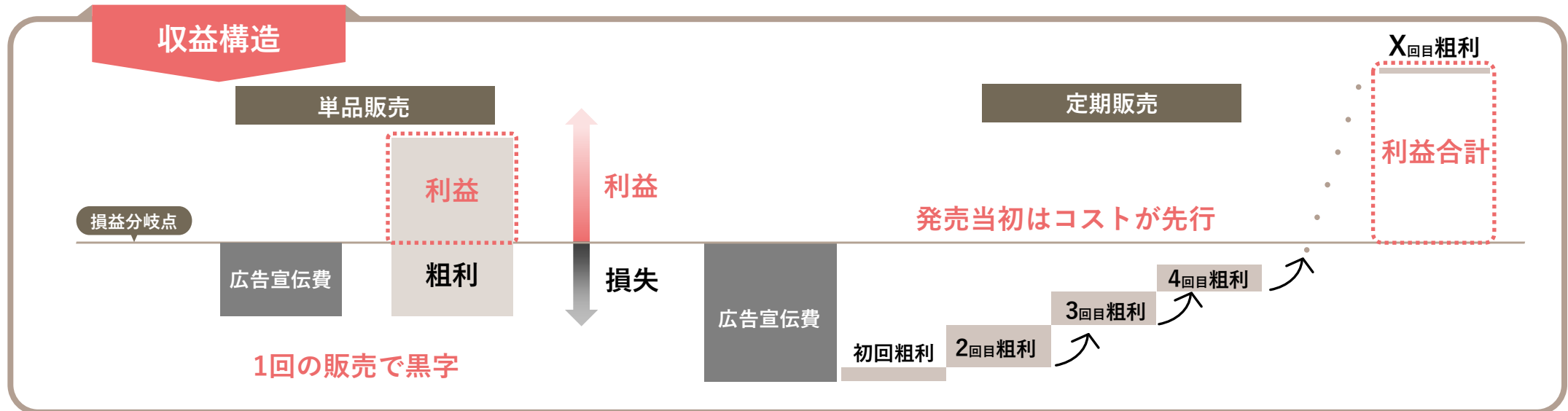
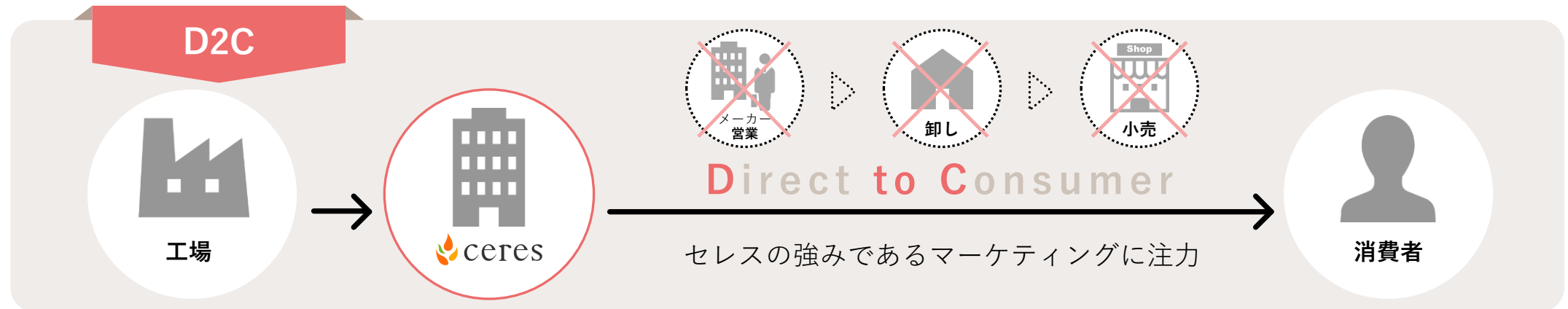
※ 2021年度以前の売上高は新収益認識基準等を遡及適用したと仮定した数値で記載しております。

- モッピー初の大規模認知施策を実施し会員数増加ペースが加速
- 会員数増加に加えモッピー経由でのECサイト利用が拡大しEC流通額は1,400億円に到達



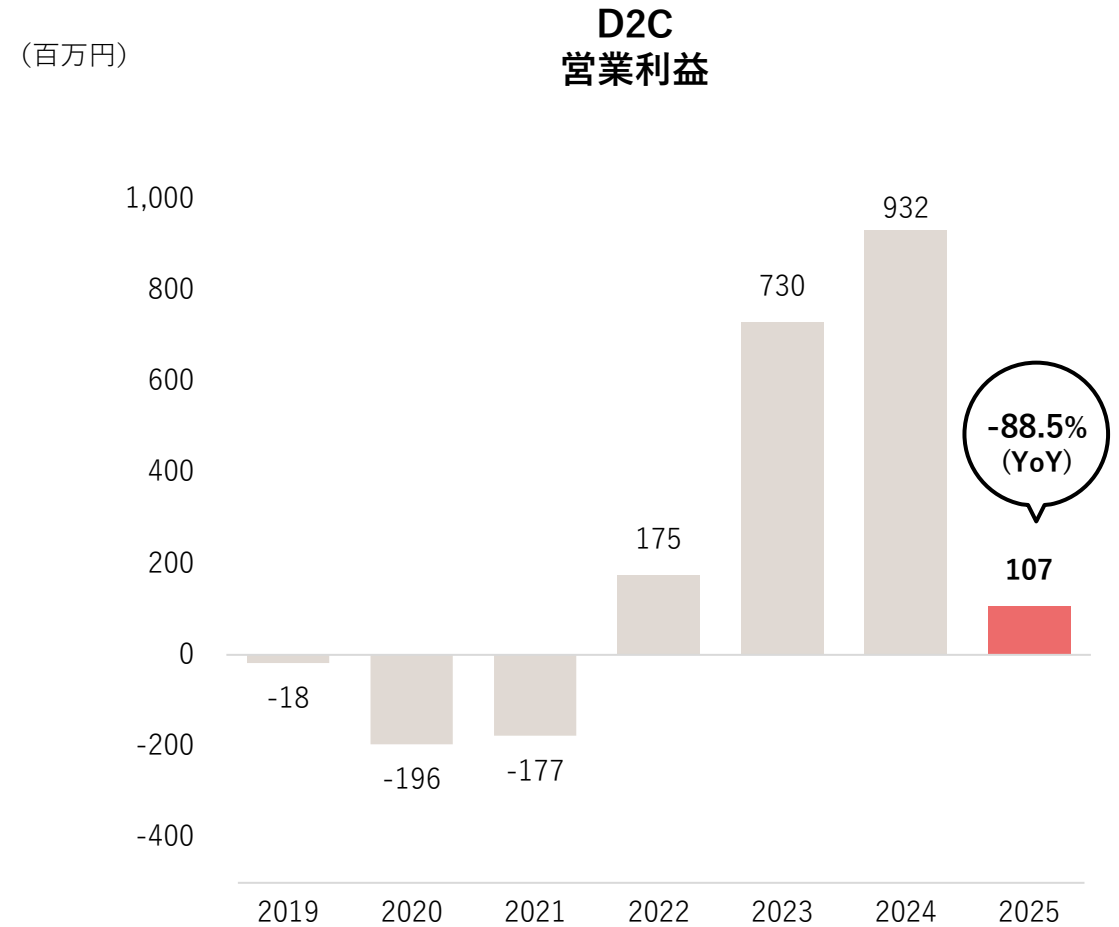
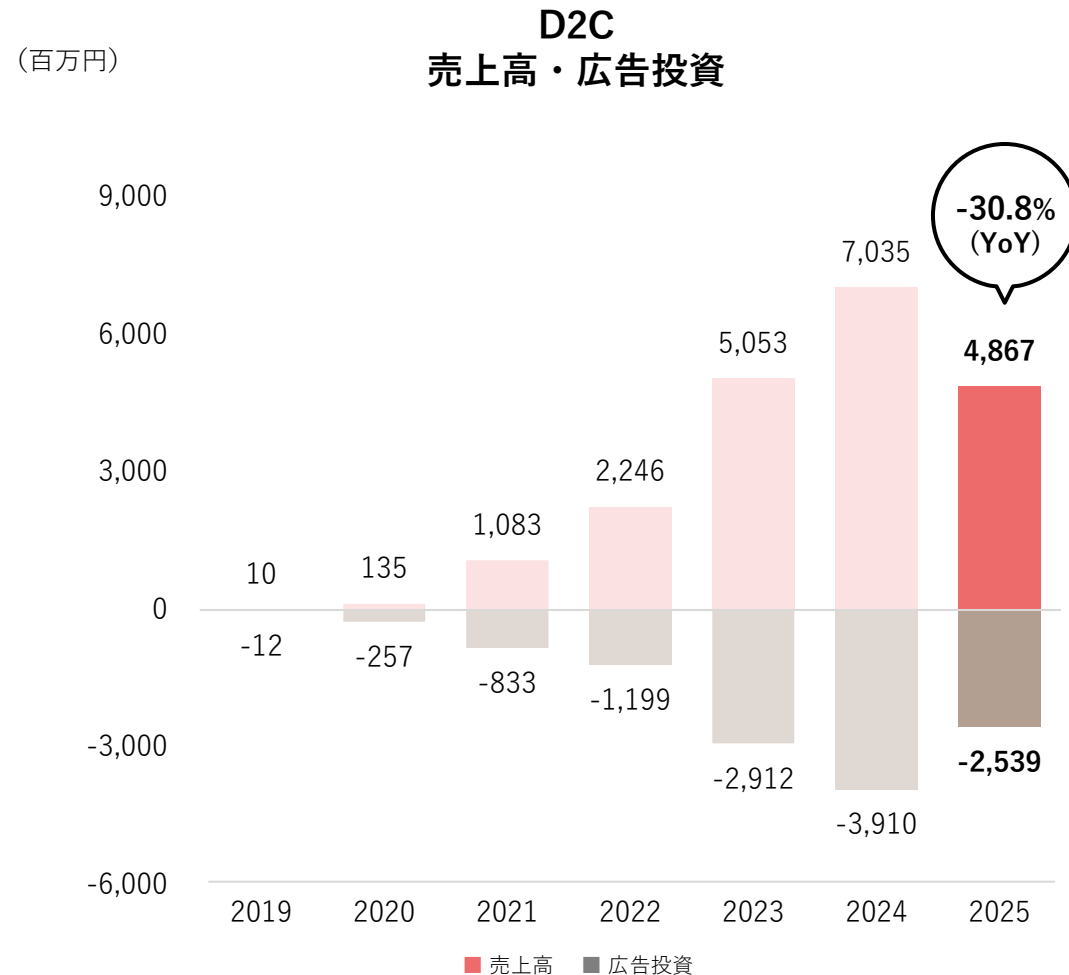
※ アクティブ会員数は、メールアドレス受信可能な会員数です。
 ※ ARPUは、モッピーの年度売上高を期中平均のモッピーアクティブ会員数で除して算出しております。

- D2Cは消費者の動向を商品開発に反映し、顧客に商品を直接届けるモデル
- 単品販売は1回の販売で粗利を確保、定期販売商品は発売当初はコスト先行



D2Cの業績推移（年度）

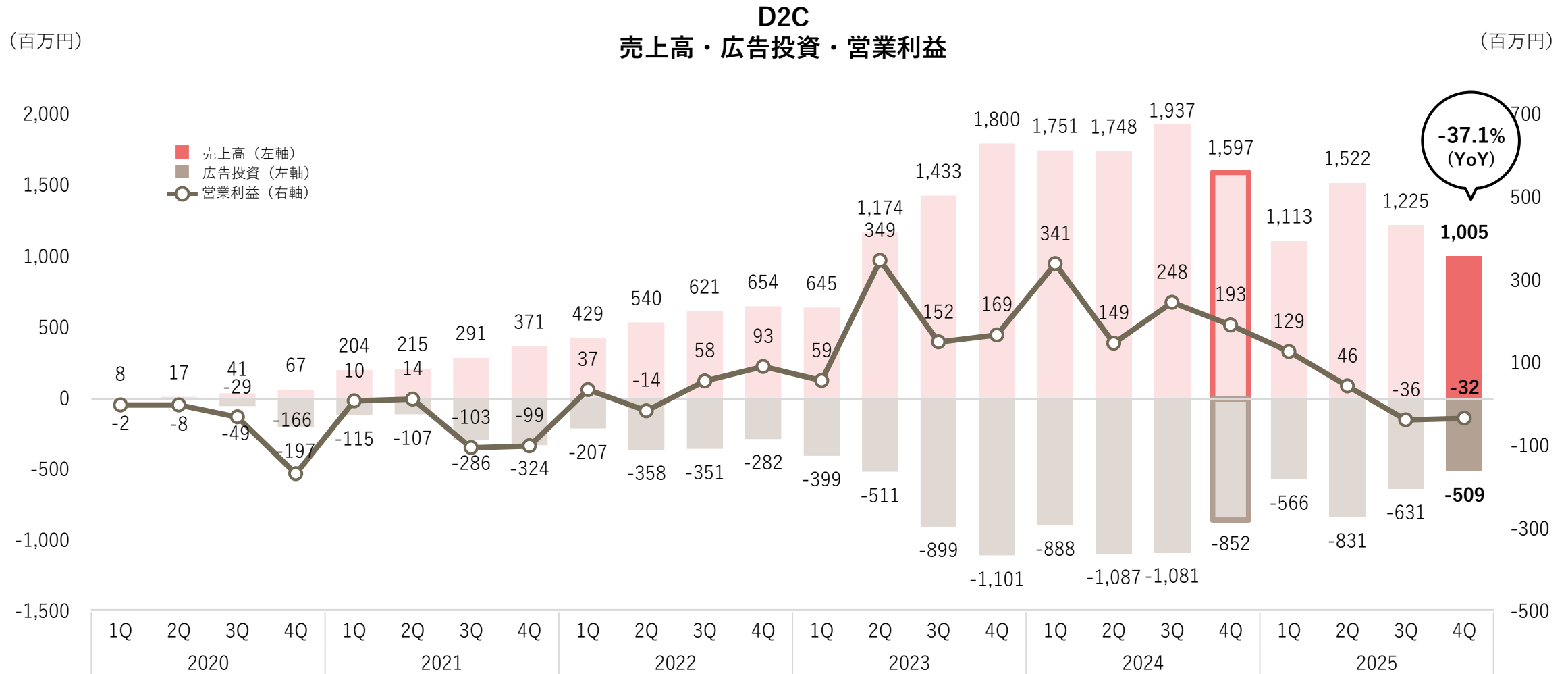
- ピットソールは商品ライフサイクルの調整局面にあり、マーケティング施策見直し回復を目指す
- 2025年は在庫評価損を合計約1.7億円計上、在庫管理体制の改善を図る



※ 2021年度以前の売上高は新収益認識基準等を遡及適用したと仮定した数値で記載しております。

D2Cの業績推移（四半期）

- ピットソールは店舗販売を想定し価格改定するも販売数量が想定を下回り減収
- M&Aや商品開発で拡充したSKUにより、クロスセルとマーケティング手法の横展開を推進



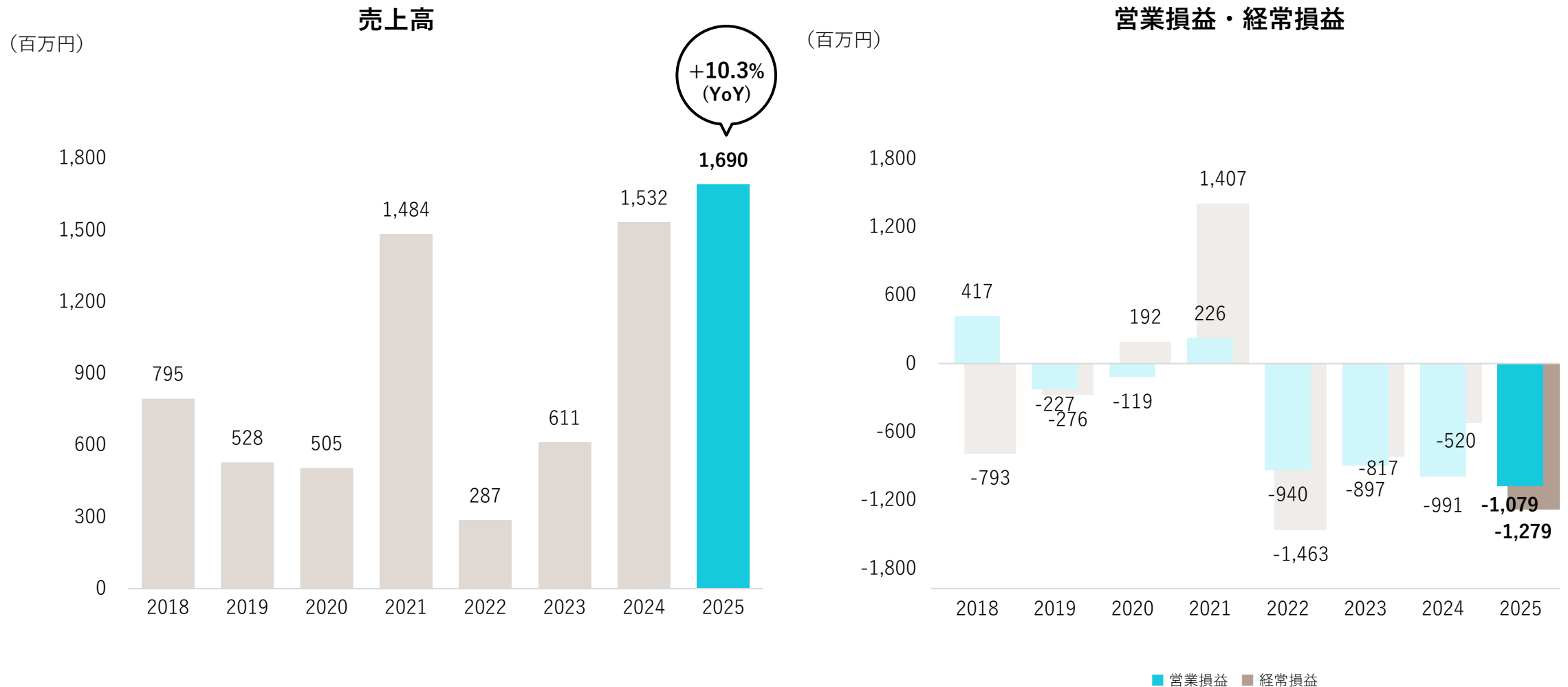
02. 2025年各事業の業績

モバイルサービス事業

フィナンシャルサービス事業

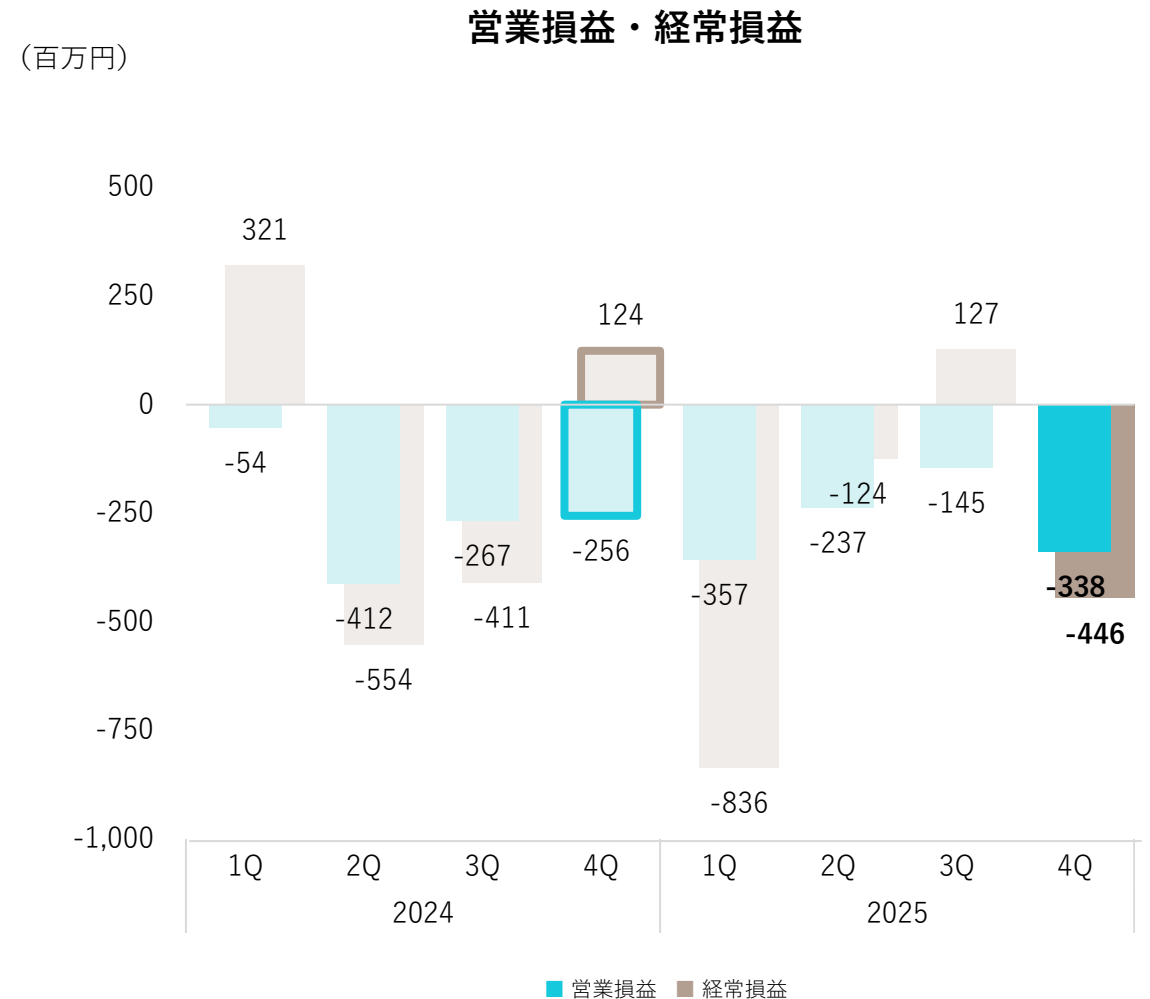
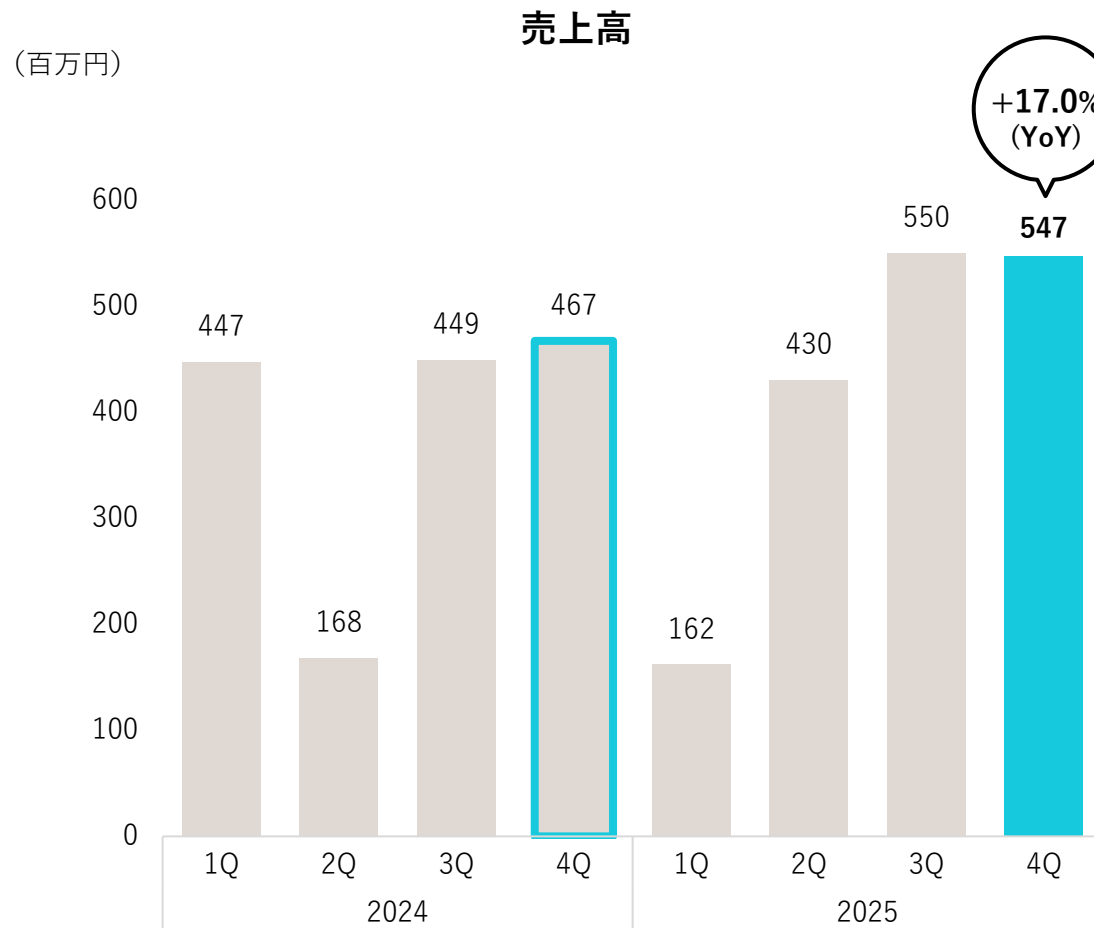
フィナンシャルサービス事業の業績推移（年度）

- 売上高はMQ評価損約2億円計上も、ラボル大幅増収で前年比増収
- 2025年末はアルトコイン価格が年初比▲18%と暗号資産相場低迷の影響を受け赤字幅拡大

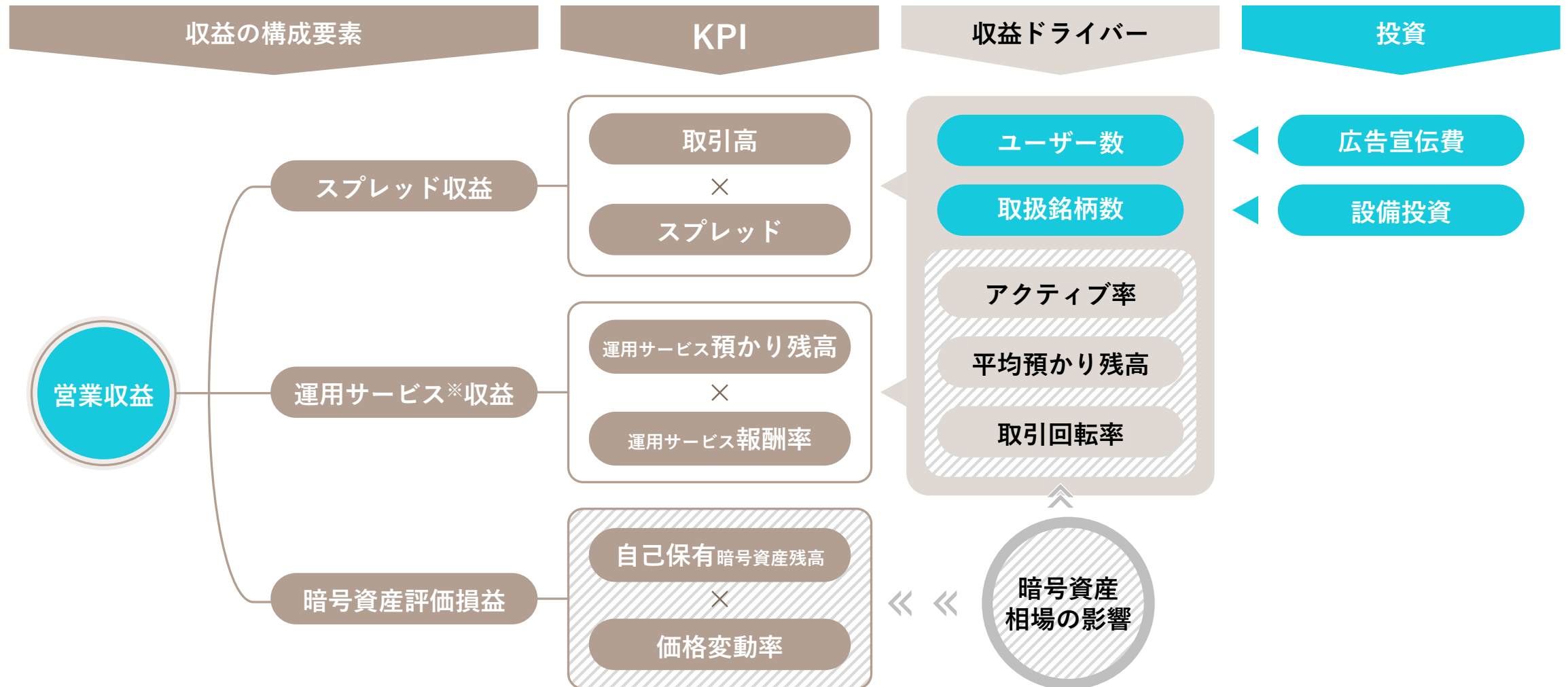


フィナンシャルサービス事業の業績推移（四半期）

- 売上高はMQ評価損約1億円計上も、ラボルGMV拡大・CVC株式売却で3Q並みに
- MQとBBがアルトコイン価格下落の影響を受け、営業・経常損失を計上

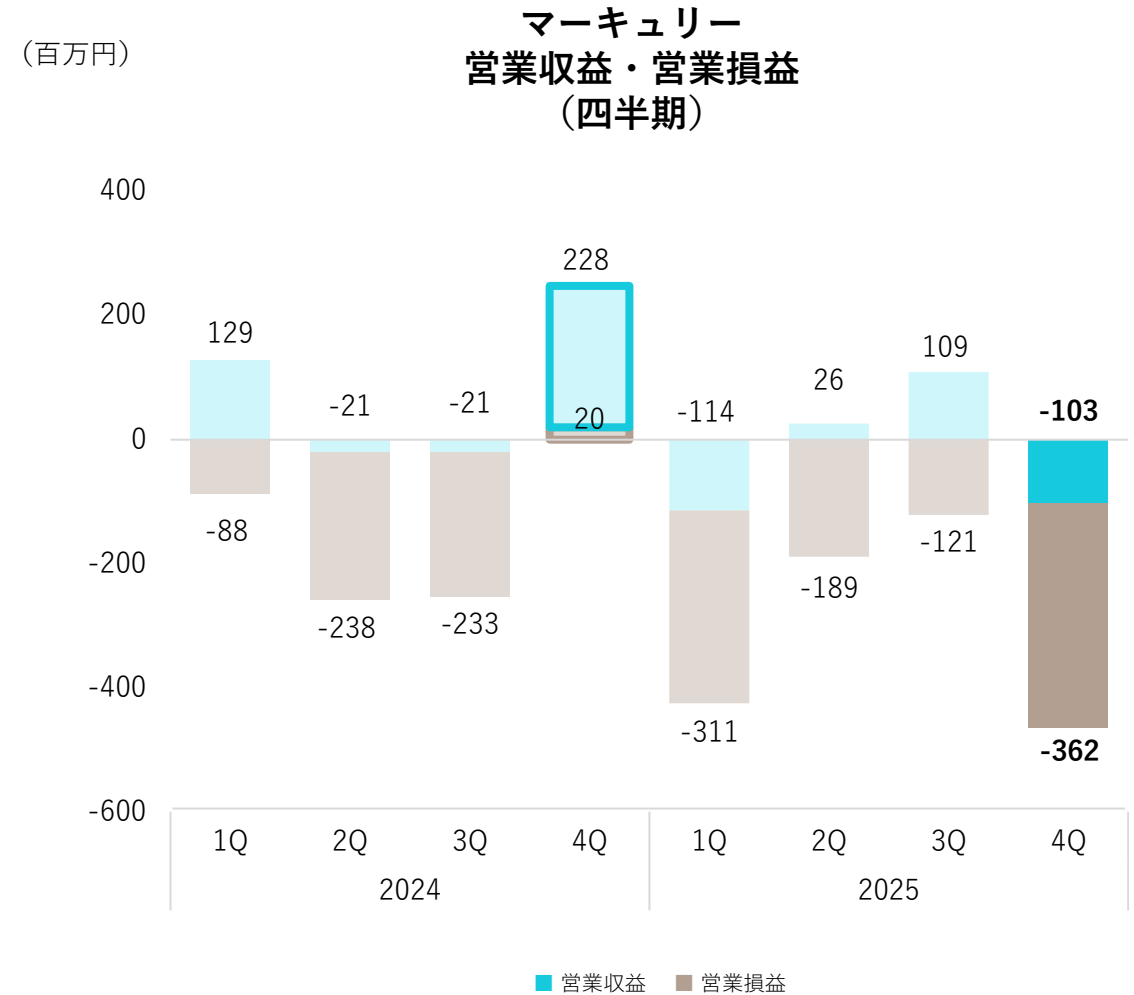
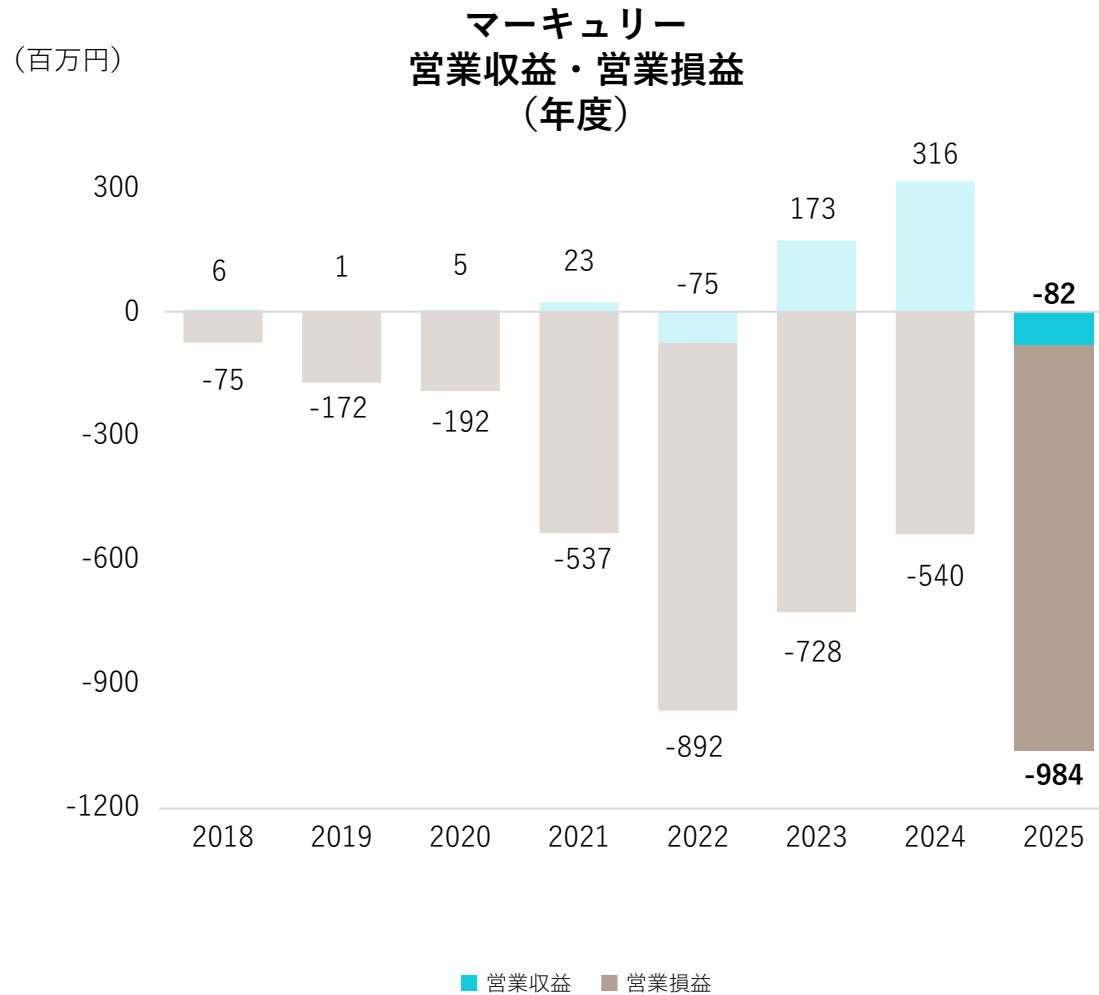


- 営業収益はスプレッド収益・運用サービス収益・暗号資産評価損益で構成
- 収益ドライバーであるユーザー数増加、取扱銘柄数拡充のため積極投資を継続

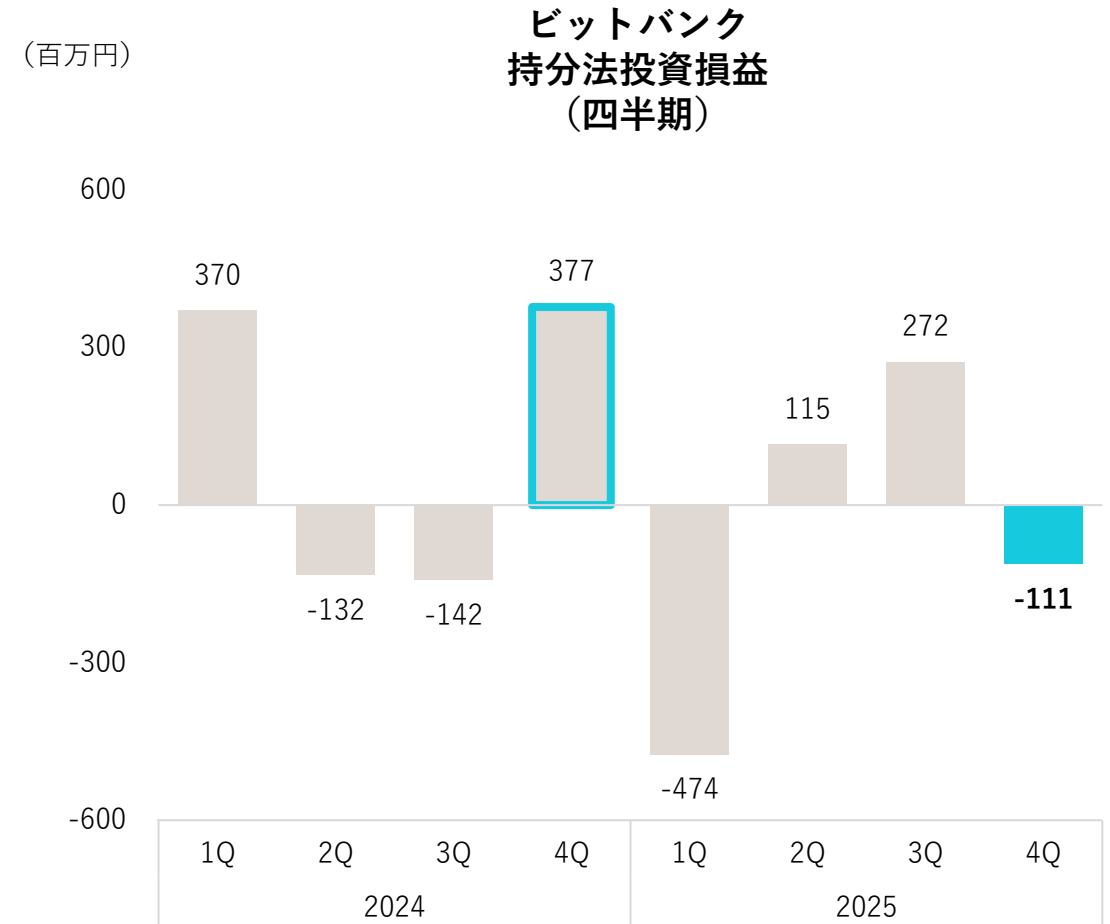
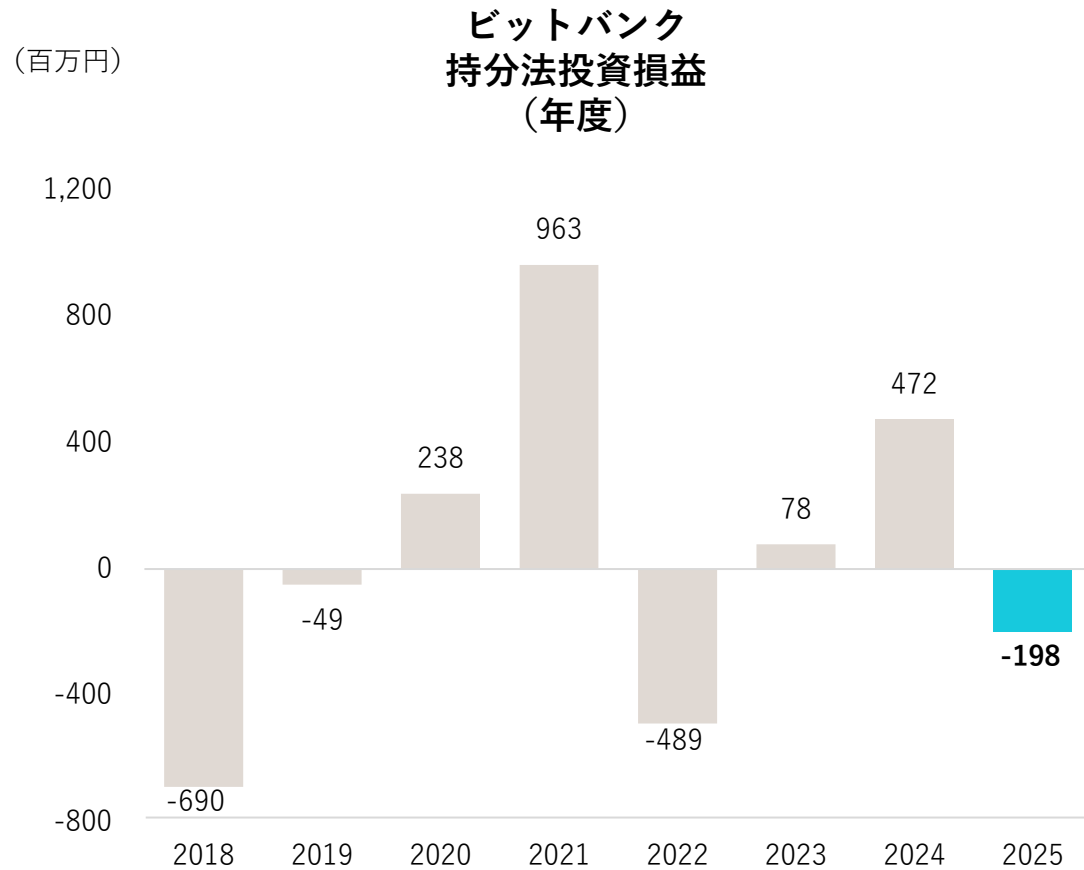


※ 運用サービス：ステーキング+レンディング

- メインで取扱うアルトコイン価格下落で、取引高の縮小と評価損の計上で減収赤字幅拡大
- 電子決済手段等取引業者の登録手続きを進め、ステーブルコイン取扱い準備に注力

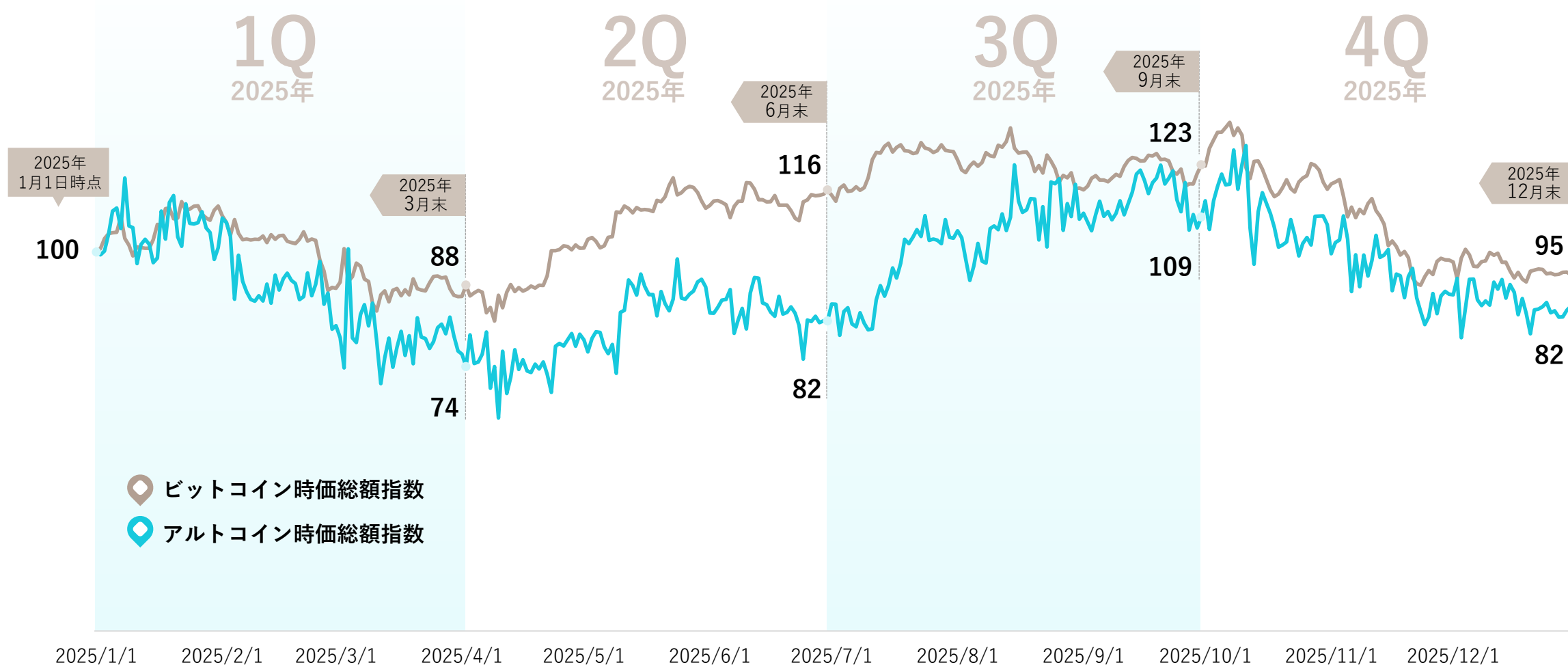


- 日本人MLB選手を起用したプロモ効果で、認知拡大しユーザーは大幅増加
- 現物板取引に加え販売所好調・信用取引開始により、収益源が多様化し相場影響は縮小傾向へ



ビットコインとアルトコインの時価総額指数化チャート

(2025年1月1日を100とする)



03. 中期経営計画2030（5か年）

売上高
600億円

CAGR
2025-2030年
15.1%

高い増収率を維持

EBITDA
120億円

CAGR
2025-2030年
17.4%

キャッシュフロー最大化
のためEBITDAを重視

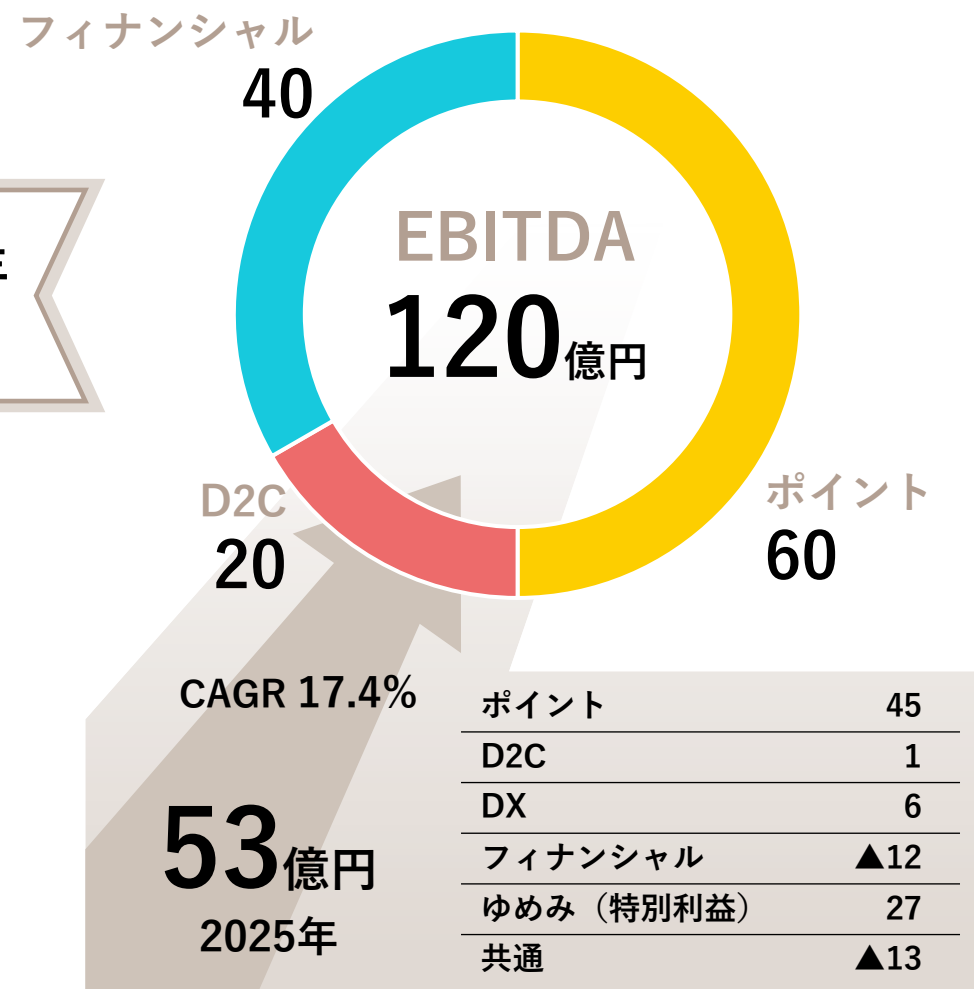
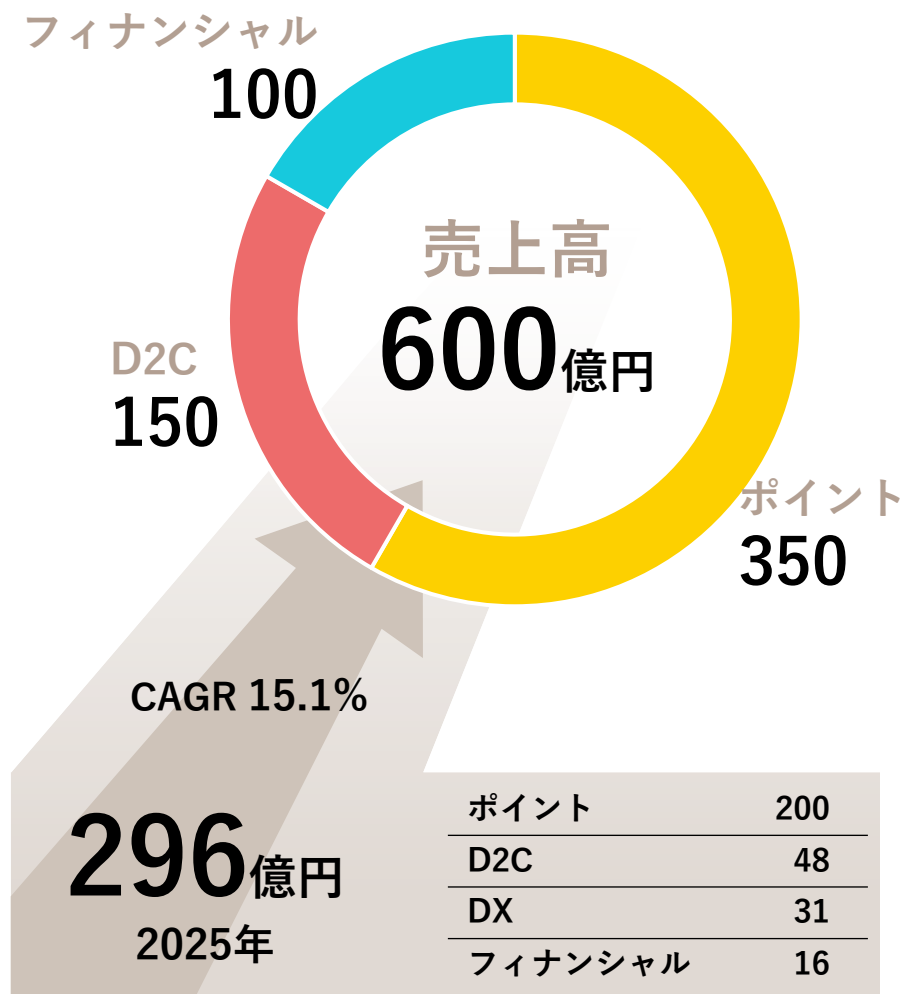
ROE
15%

平均ROE
2021-2025年
15.2%

ROE15%超を
安定的に実現

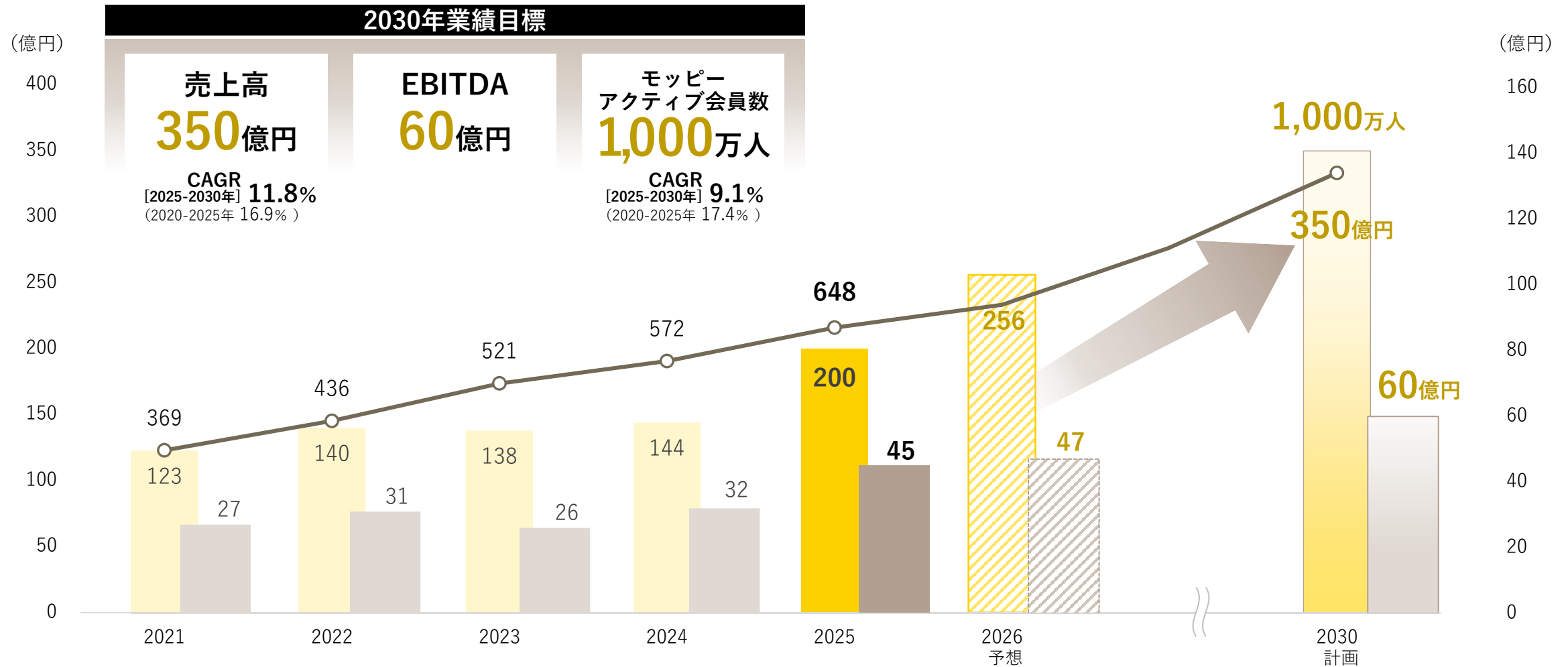
中期経営計画2030（5か年）事業ポートフォリオイメージ

- 売上高はポイントが市場成長率を上回る増収に加え、D2C・フィナンシャルの収益拡大を見込む
- EBITDAはポイント・D2Cで着実に利益を積み上げ、フィナンシャルの収益化を目指す



ポイントの業績目標

- モッピーは会員の増加・広告利用率の引上げに余地あり、安定した成長を維持
- Point Incomeは当期から通期で貢献、PMIは順調に進捗、完了後は収益拡大の見通し

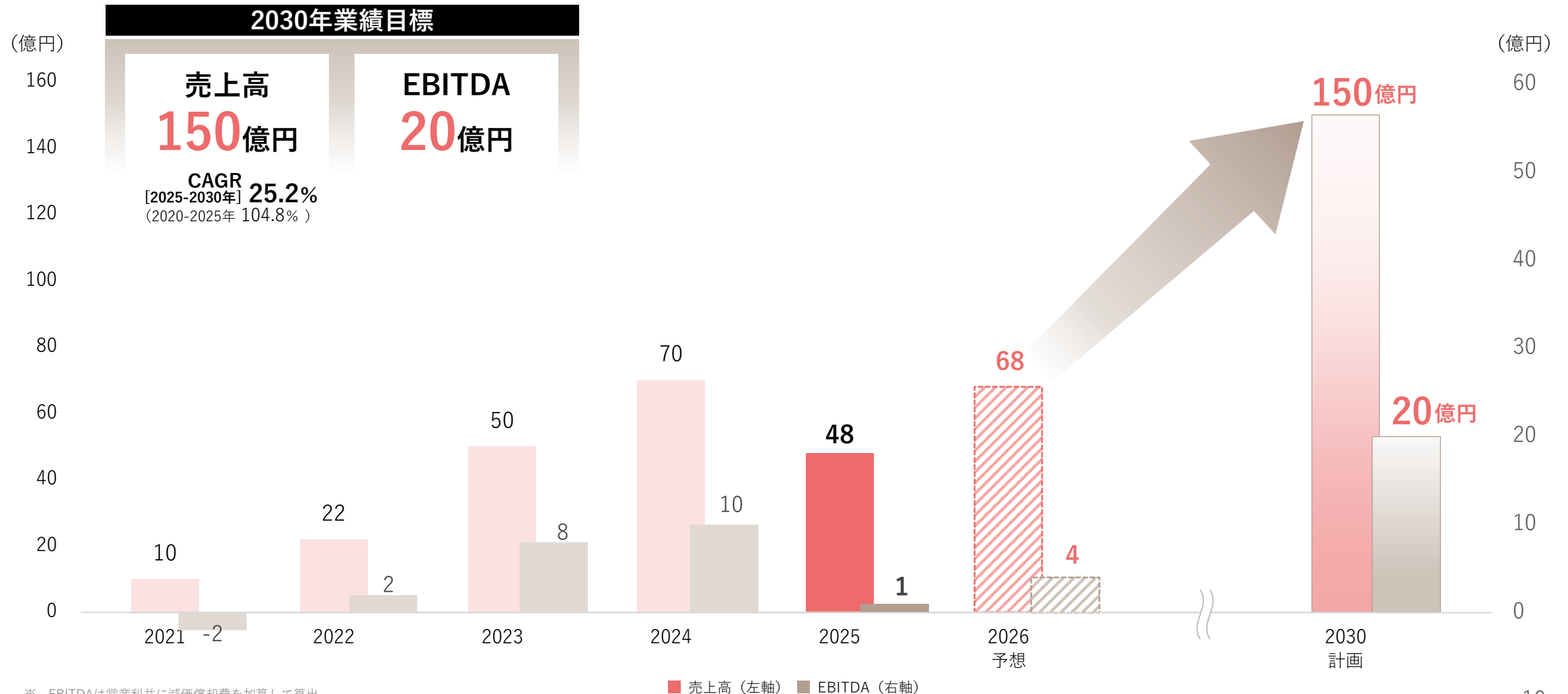


※ EBITDAは営業利益に減価償却費を加算して算出

■ ポイント売上高 (左軸) ■ EBITDA (右軸) ● モッピーアクティブ会員数

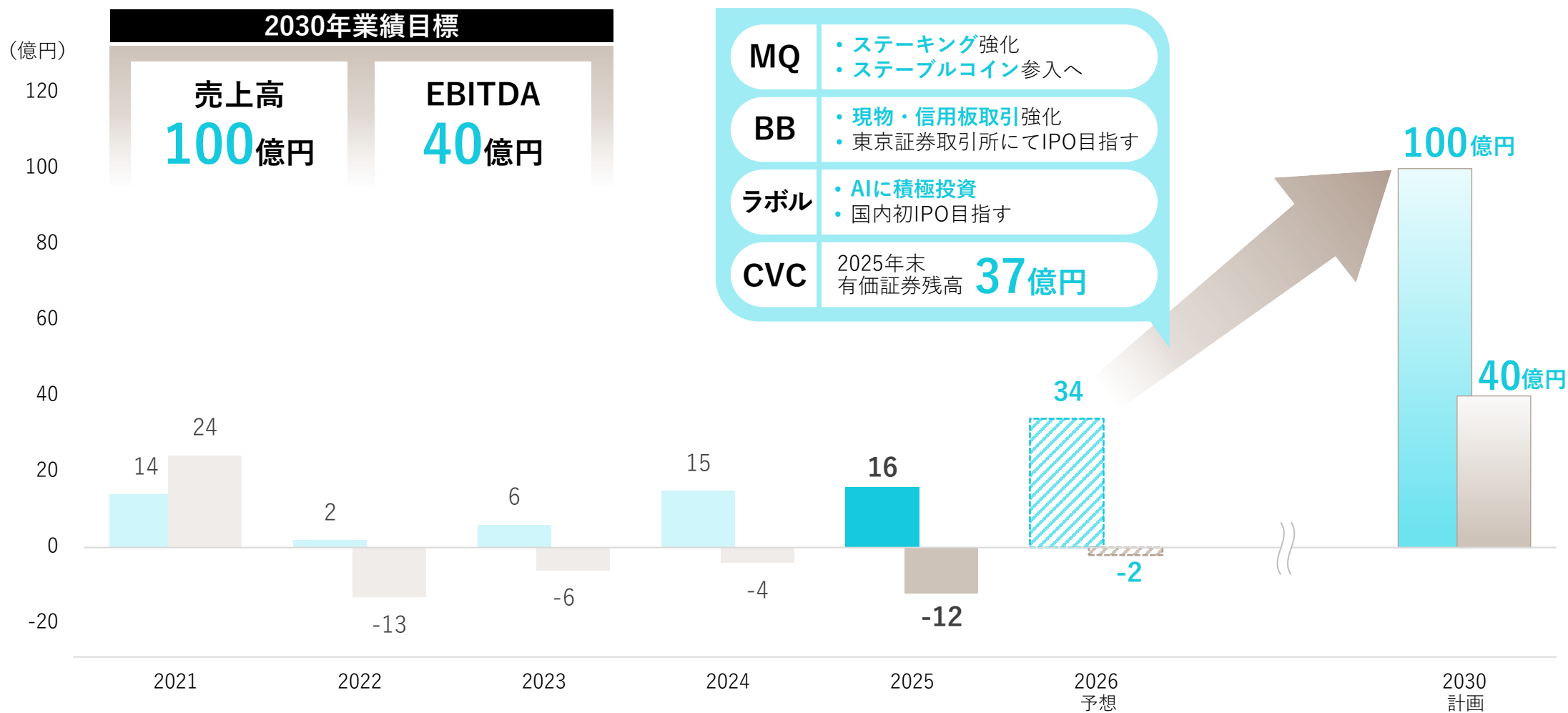
D2Cの業績目標

- 商品開発とブランド展開の強化に加え、M&Aを活用したSKU拡充を推進
- アフィリエイト広告を中心に潜在顧客層に訴求を進め収益拡大を見込む



フィナンシャルサービス事業の業績目標

- MQは暗号資産運用プラットフォームとして収益化、BBは国内暗号資産取引所No.1を目指す
- ラボルは旺盛なフリーランス向け資金需要を背景にファクタリングサービスで国内初IPOを目指す



※ EBITDA予想は営業利益に減価償却費を加算して算出

■ 売上高 ■ EBITDA

04. 2026年業績予想

(単位：百万円)	2026年12月期 予想	2025年12月期	YoY	前年増減額
売上高	35,700 (100.0%)	29,660 (100.0%)	+20.4%	+6,039
営業利益	2,800 (7.8%)	2,334 (7.9%)	+20.0%	+465
経常利益	2,800 (7.8%)	2,105 (7.1%)	+33.0%	+694
当期純利益※	1,600 (4.5%)	2,497 (8.4%)	-35.9%	-897
EBITDA	3,450 (9.7%)	5,392 (18.2%)	-36.0%	-1,942
年間配当金	60円 (普通配当60円)	80円 (普通配当60円・特別配当20円)		
EPS	138.66円	216.61円		
配当性向	43.3%	36.9%		

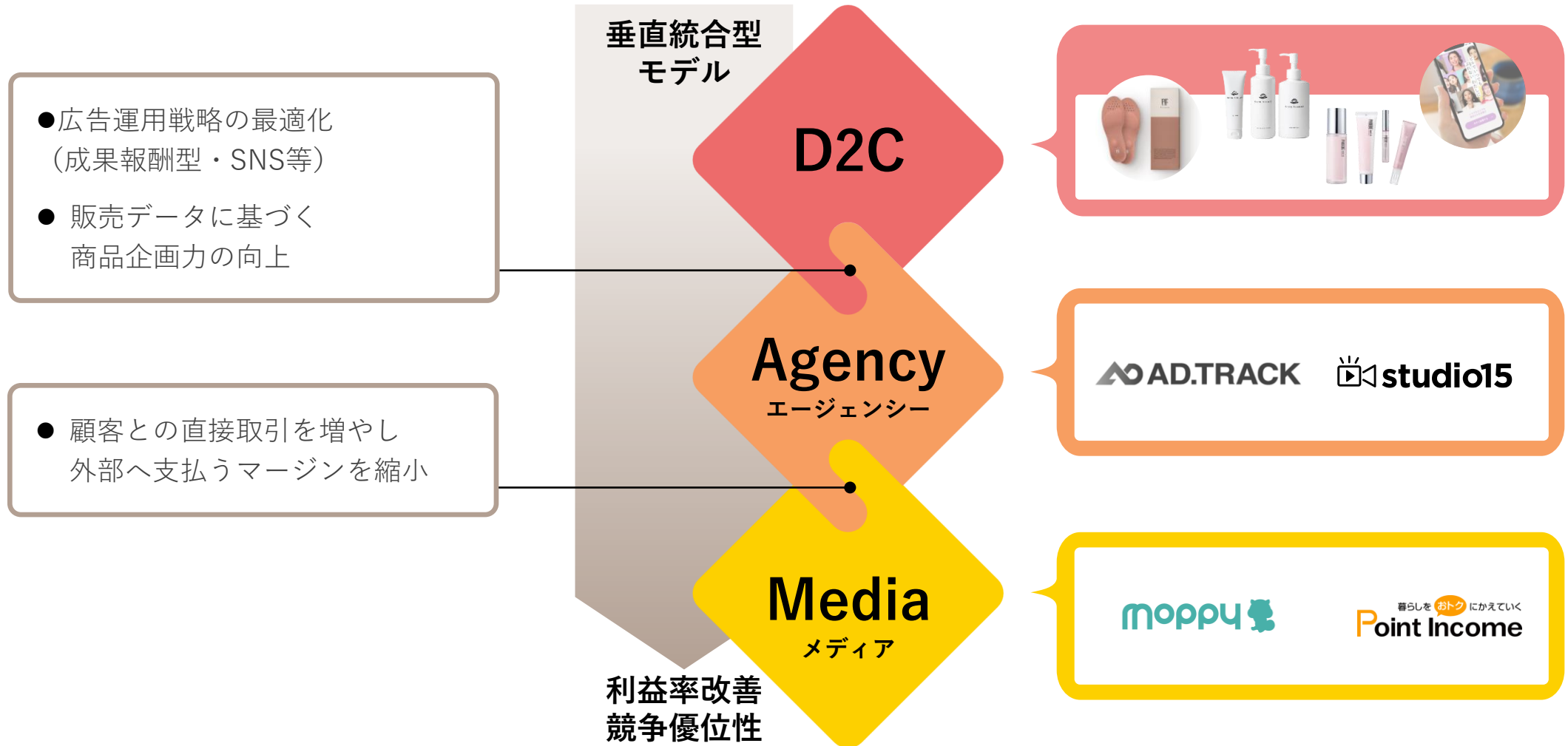
※ 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を示します。

セグメント業績予想

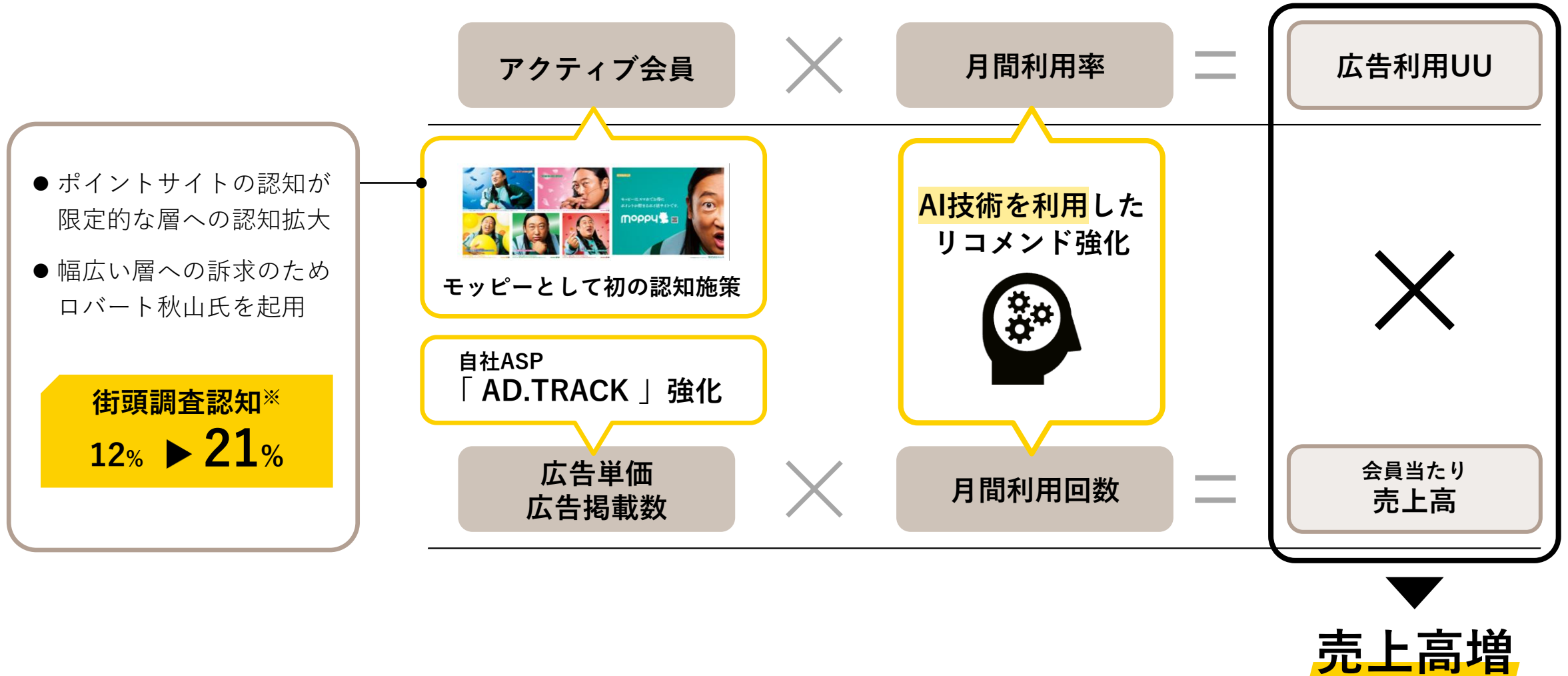


(単位：百万円)	売上高		2025年12月期	営業利益		2025年12月期
	2026年12月期 予想	YoY		2026年12月期 予想	YoY	
全社	35,700	+20.4%	29,660	2,800	+20.0%	2,334
モバイルサービス事業	32,280	+15.3%	27,990	4,600	-6.0%	4,895
ポイント	25,600	+27.5%	20,080	4,500	+3.2%	4,359
D2C	6,800	+39.7%	4,867	270	+150.8%	107
DX	-	-	3,153	-	-	599
セグメント内取引高	-120	-	-111	-170	-	-171
フィナンシャルサービス事業	3,450	+104.1%	1,690	-320	-	-1,079
セグメント間取引高 / 調整額	-30	-	-20	-1,480	-	-1,481

- 国内最大規模のモッピーのメディア力を活かし、D2Cまでの一気通貫のビジネスモデルを形成
- 各事業を緊密に連携させることで、利益率改善し収益拡大に



- 認知施策を取入れアクティブ会員の増加と利用率の向上、広告利用UUはさらに増加見込み
- AI技術を活用し、会員の利用履歴・属性を分析し、広告利用率を引き上げていく



※本調査は外部調査会社を通じて実施し、2025年6月末および12月末（認知施策実施後）の結果を比較しております。

- 商品開発とM&AでSKUを拡充、競争力のある商品のブランド化を推進し中長期の成長を実現
- 主力の自社サイト・ECモールに加え、リテール等に販路を拡大し、新規顧客獲得を目指す

ブランド拡充とマーケティング戦略



- 運用サービスを多様化することで暗号資産のトータル運用プラットフォームを目指す
- 暗号資産を新たなアセットクラスとして確立し、幅広い投資家層の取り込みを図る



※「APR」：年換算利回り（Annual Percentage Rateの略）

- 取扱い銘柄数・サービス展開ともに国内最大級、認知向上施策で幅広いユーザー層を取り込む
- 三井住友トラストグループと連携しJADATを設立し国内初の暗号資産カストディ業務を目指す

01 取扱い銘柄数
国内最大級
44銘柄
全銘柄板取引可能

売買可能
レバレッジ 2倍
02 信用取引
サービス

03 販売所
取引高拡大中

洗練された
UI/UX
04



JADAT

日本デジタルアセットトラスト設立準備株式会社



「管理型信託会社」登録により
国内初の暗号資産カストディを可能に

✓ 機関投資家の参入拡大

機関投資家向け暗号資産
カストディの提供

✓ 暗号資産ETF解禁への対応

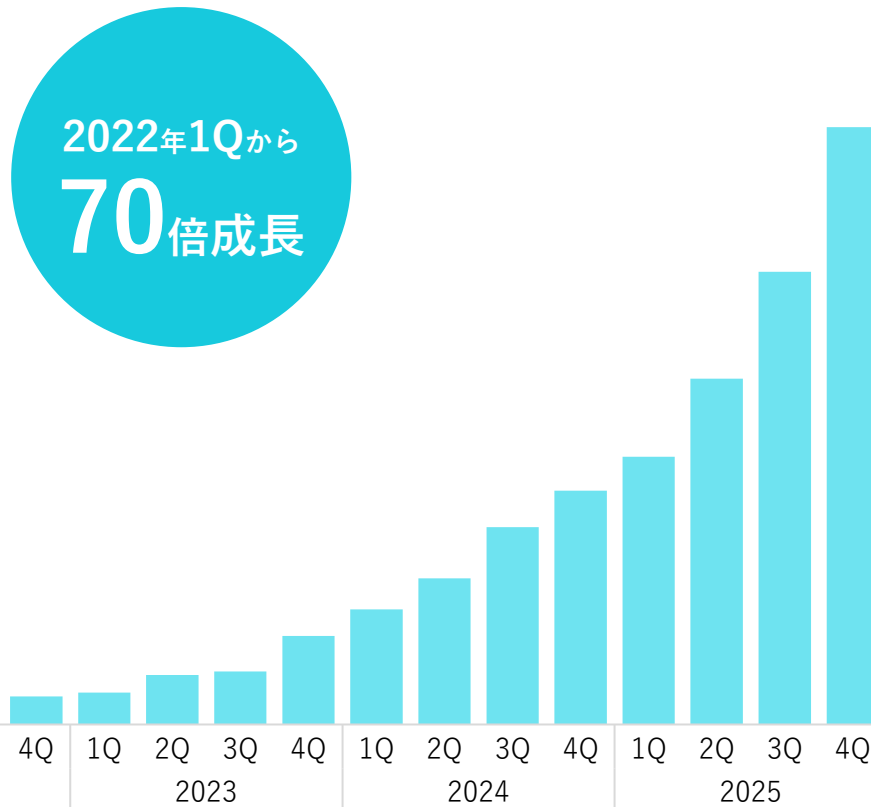
セキュアな資産管理

✓ 安定したストック収益

預り資産からの手数料収入

- 強みのマーケティング力を活かしファクタリング市場に参入、GMVは大きく伸長
- AI活用により買取審査精度を高め貸倒率を低水準に維持、ユーザー獲得を通じ収益拡大

ラボルGMV（四半期）※



※ 株式会社ラボルは2021年12月に設立
※ GMVはファクタリングサービスとカード払いサービスの取扱高の合計です。
2022年1Qを100として指数化しております。

GMV拡大に向けた取り組み

- マーケティングの強化により新規ユーザーを拡大
 - ・ 会員登録チャネルを戦略的に多様化
 - ・ 潜在ユーザーの獲得へ
- AI技術の活用によるサービス価値の向上
 - ・ AI技術を活かし、審査精度を高め審査時間の短縮化と低い貸倒水準を維持
 - ・ 東京大学研究室と共同研究を継続



持続的な成長を支える体制を構築し
パブリックカンパニーを目指す

APPENDIX

APPENDIX

会社概要

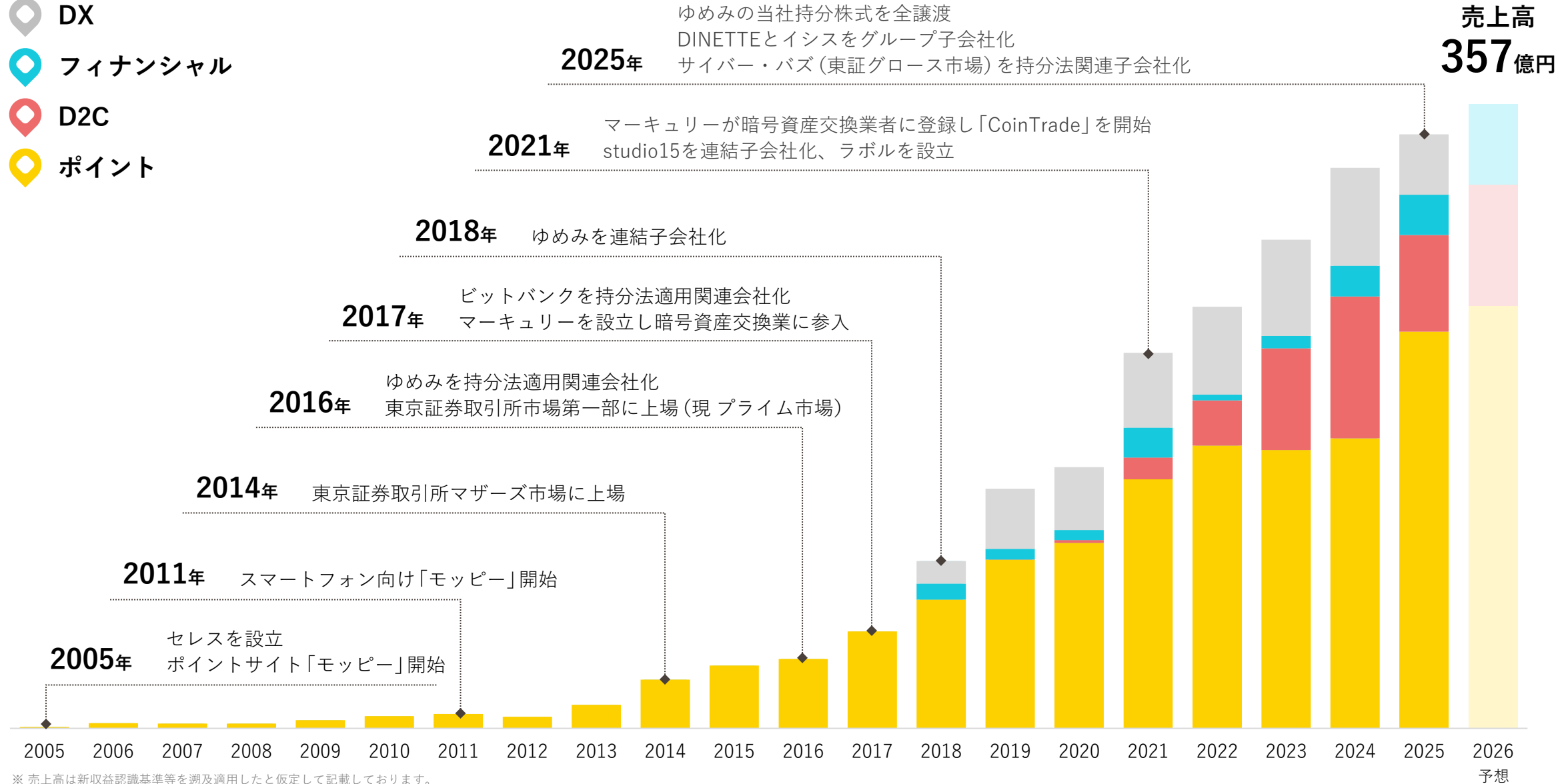
- 創業20周年である2025年を次の成長への新たな出発点と位置づけMVVを再定義
- 変化の時代に挑戦と進化を重ね次の20年を見据えた持続的成長と価値創造を実現








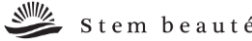



会社名	株式会社セレス
設立年月日	2005年1月28日
所在地	東京都渋谷区桜丘町1番1号 渋谷サクラステージ SHIBUYAタワー21F
決算期	12月
資本金	21億5,889万円（2025年12月末現在）
代表者	代表取締役社長 都木 聡
従業員数（連結）	351名（2025年12月末／臨時雇用者除く）
事業内容	モバイルサービス事業 フィナンシャルサービス事業
連結子会社※	株式会社マーキュリー、株式会社ディアナ、株式会社バックス、studio15株式会社、株式会社サルス、株式会社アポロ・キャピタル、株式会社ラボル、DINETTE株式会社 等
持分法適用関連会社	ビットバンク株式会社、株式会社サイバー・バズ

※ 株式会社ゆめみは、2025年5月30日をもって当社持分の全株式を譲渡いたしました。

- DX
- フィナンシャル
- D2C
- ポイント



- 成長モデルの異なる事業を組み合わせ持続可能な事業ポートフォリオを構築
- 事業の集中と選択を推進し、垂直統合型の高収益事業の基盤を強化






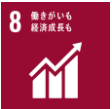












セグメント		運営会社		サービス	
モバイルサービス					
ポイント	セレス studio15 サイバー・バズ	 	 	 	
D2C	バックラス、サルス DINETTE、イシス	 DINETTE	 		
フィナンシャルサービス					
ブロックチェーン	マーキュリー ビットバンク				
オンラインファクタリング	ラボル				
CVC（投資育成事業）	アポロ・キャピタル				

APPENDIX

サステナビリティ

サステナビリティ経営における7つのマテリアリティ

- 特に注力して取り組むテーマである「7つのマテリアリティ」
- サステナビリティ経営においてこれまでのESG戦略を一層強化

マテリアリティ		関連するSDGs					
1	自社サービスを通じた豊かな社会の実現への貢献						
2	オープンイノベーションによる11社会課題解決・経済発展への貢献						
3	デジタル広告の公正な運用と業界の健全な発展への貢献						
4	環境に配慮した製品・サービスの提供						
5	多様な人材の活躍						
6	情報セキュリティとプライバシー						
7	コーポレートガバナンスの強化						

- サステナビリティの取り組みは外部評価を高めながら着実に進展
- 2030年に向け社内体制整備と情報開示の深化により次のステージを目指す

2025年実績



CDP
シー・ディ・ピー

B

気候変動スコア

A評価取得項目 |

ガバナンス / Scope1&2排出量 / リスク・機会の
開示・プロセス / 環境方針 / 排出削減の取組み
及び低炭素製品

2030年ターゲット



気候変動スコア

女性活躍推進
両立支援の推進
健康経営の推進



- 女性活躍推進の取組を評価する「えるぼし」
で3つ星を獲得
- 子育てサポート企業認定制度、健康経営認定
制度は認定に向け準備中



プラチナえるぼし



安全衛生優良企業



プラチナくるみん



健康経営優良法人
ホワイト500

EcoVadis
エコバディス



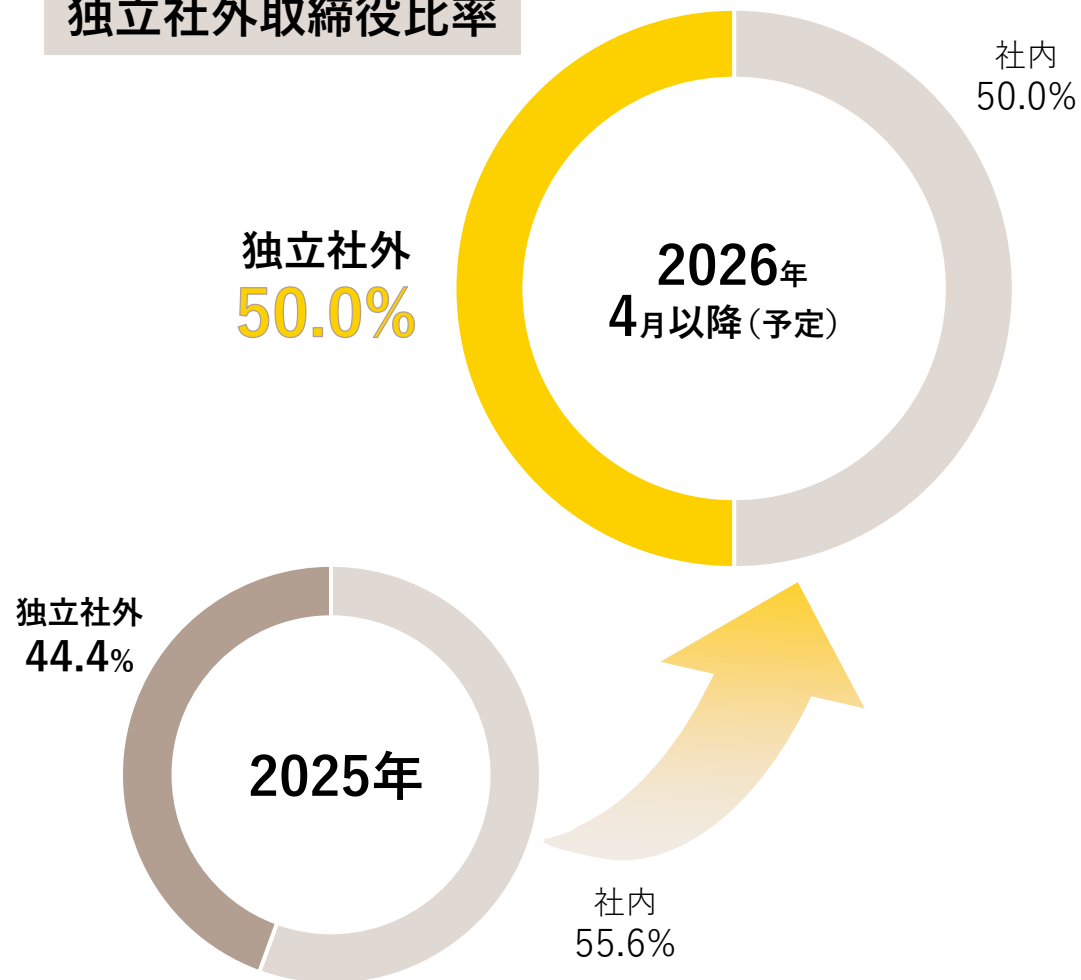
「環境」「労働と人権」「倫理」「持続可能な
調達」の4分野を評価するサステナビリティ
評価にて、コミットメントバッジを獲得



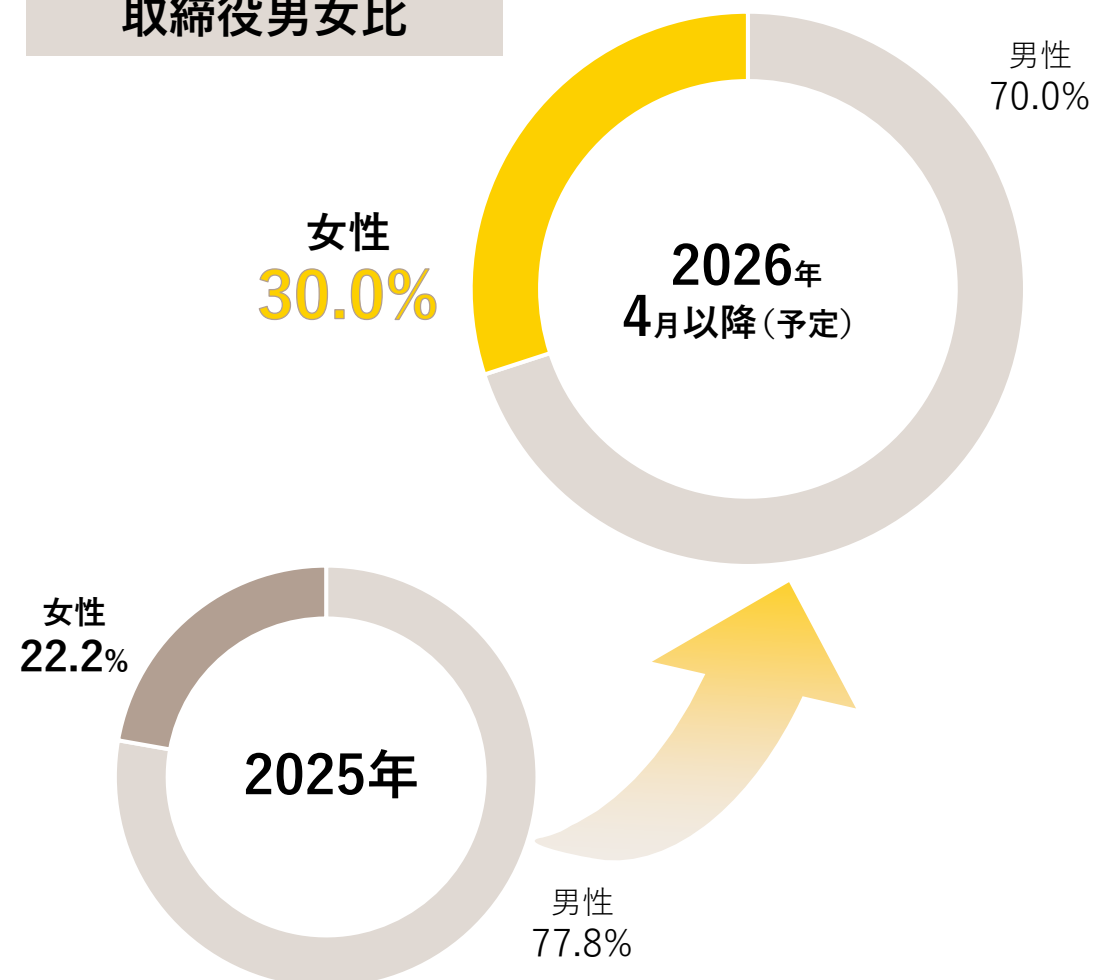
EcoVadis Medal gold

- 中長期的な企業価値向上を見据え2026年4月より女性の独立社外取締役を1名追加予定
- 経営の透明性を高めつつ持続的な成長に資するガバナンスの実効性を強化

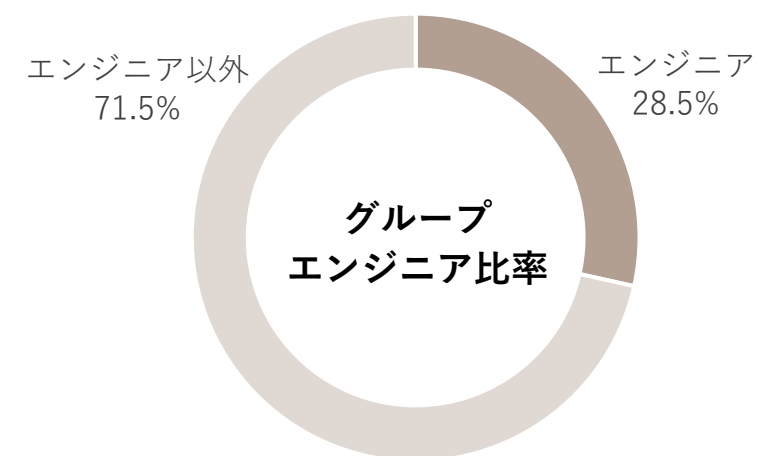
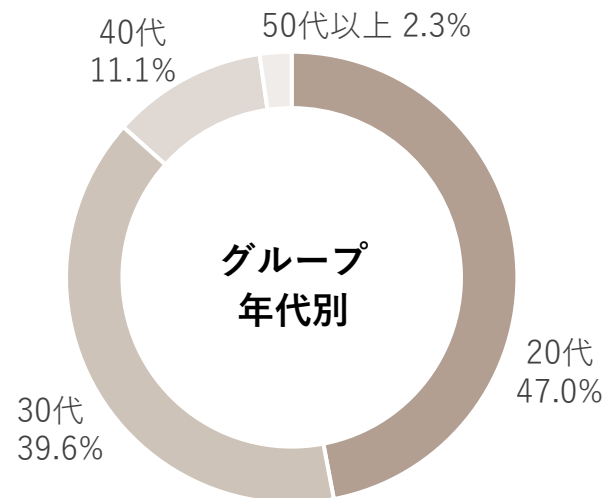
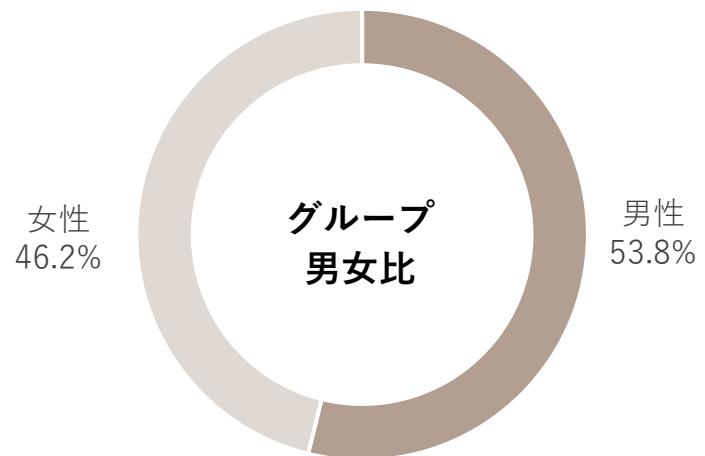
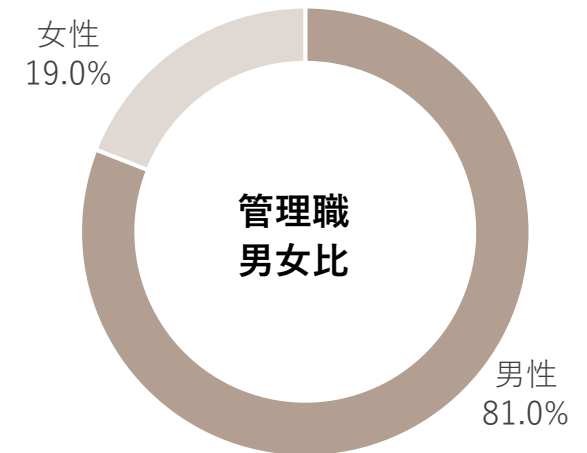
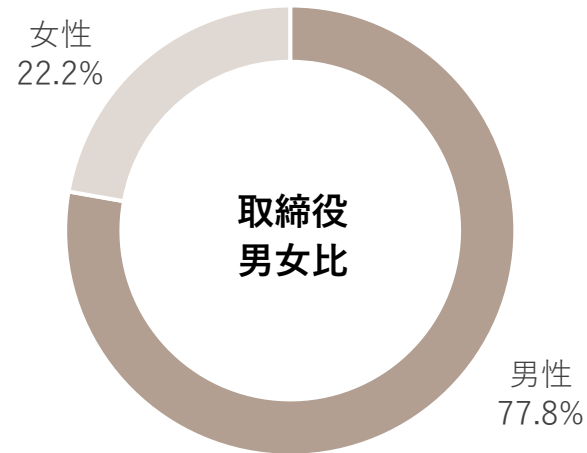
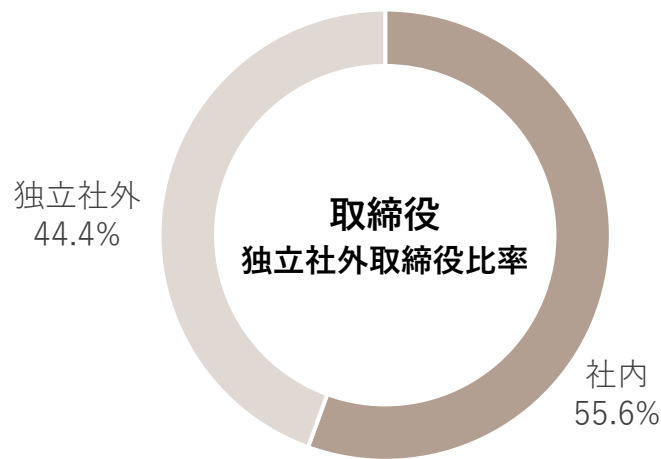
独立社外取締役比率



取締役男女比



- 独立社外取締役の拡充により多様な視点を確保、中長期的な企業価値向上を目指す
- 女性比率とスキル多様性を高め、取締役会における意思決定の質を向上



APPENDIX

業績推移

業績ハイライト 1



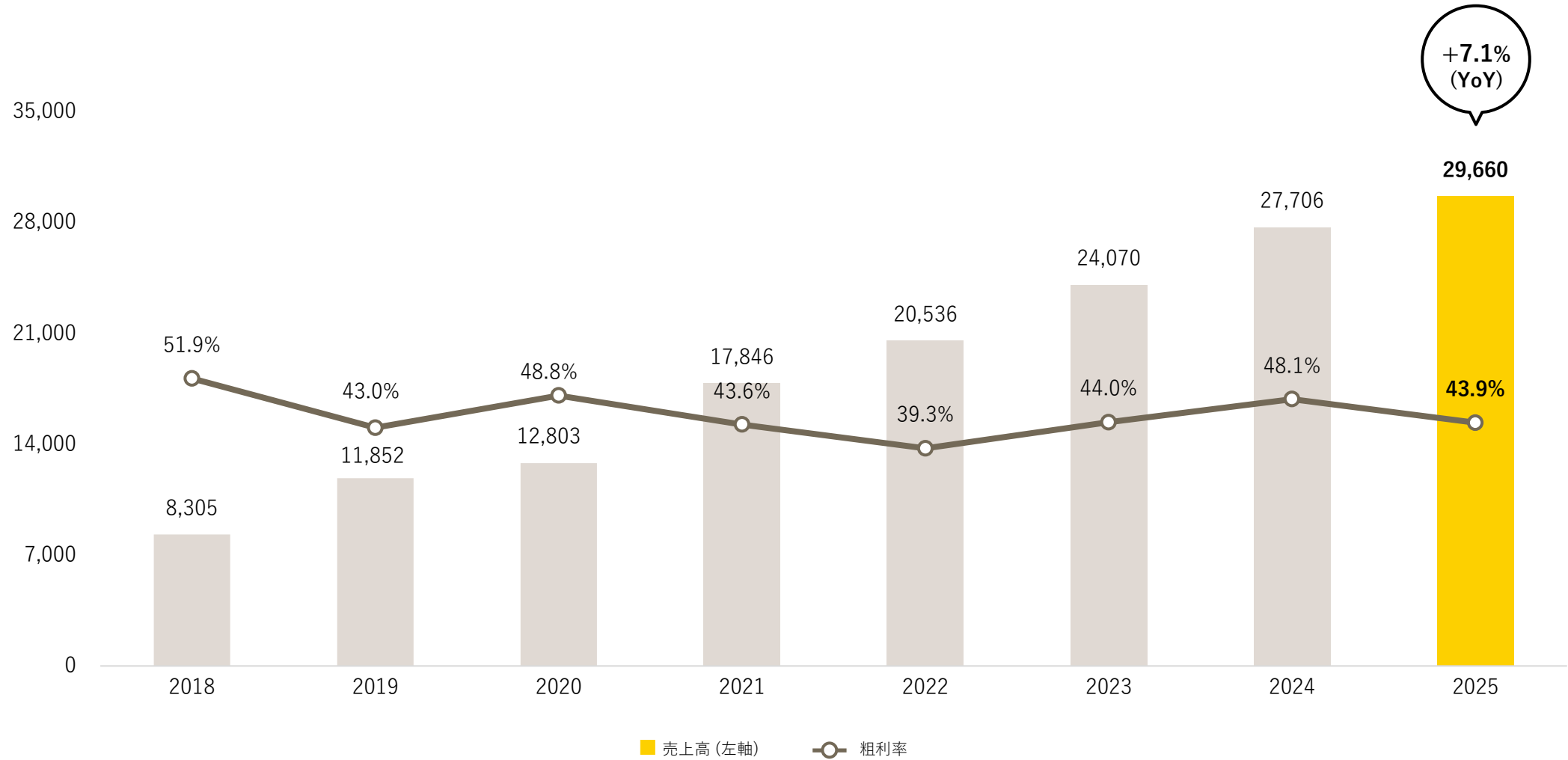
(単位：百万円)	2021年12月期 (連結)	2022年12月期 (連結)	2023年12月期 (連結)	2024年12月期 (連結)	2025年12月期 (連結)
売上高	17,846	20,536	24,070	27,706	29,660
売上高成長率	39.4%	15.1%	17.2%	15.1%	7.1%
営業利益	2,305	1,246	1,118	2,228	2,334
売上高営業利益率	12.9%	6.1%	4.6%	8.0%	7.9%
営業利益成長率	54.0%	-45.9%	-10.3%	99.2%	4.8%
経常利益	3,499	679	1,217	2,677	2,105
当期純利益※1	2,775	46	451	1,480	2,497
EBITDA※2	4,693	1,147	1,707	3,146	5,392

※1 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を示します。

※2 EBITDA = 税金等調整前当期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算) + 減損損失

	2021年12月期 (連結)	2022年12月期 (連結)	2023年12月期 (連結)	2024年12月期 (連結)	2025年12月期 (連結)
総資産（百万円）	20,234	22,597	25,915	32,976	37,504
純資産（百万円）	9,819	9,696	10,045	12,721	13,964
ネットキャッシュ（百万円）	2,435	590	694	2,059	3,661
ROA（総資産経常利益率）	19.2%	3.2%	5.0%	9.1%	6.0%
ROE（自己資本純利益率）	35.6%	0.5%	5.0%	14.6%	20.4%
自己資本比率	44.8%	39.3%	35.4%	33.8%	35.5%
D/Eレシオ（負債資本倍率）	44.9%	61.4%	73.8%	74.8%	67.4%
一株当たり当期純利益(円)	251.75	4.12	39.57	128.96	216.61

(百万円)

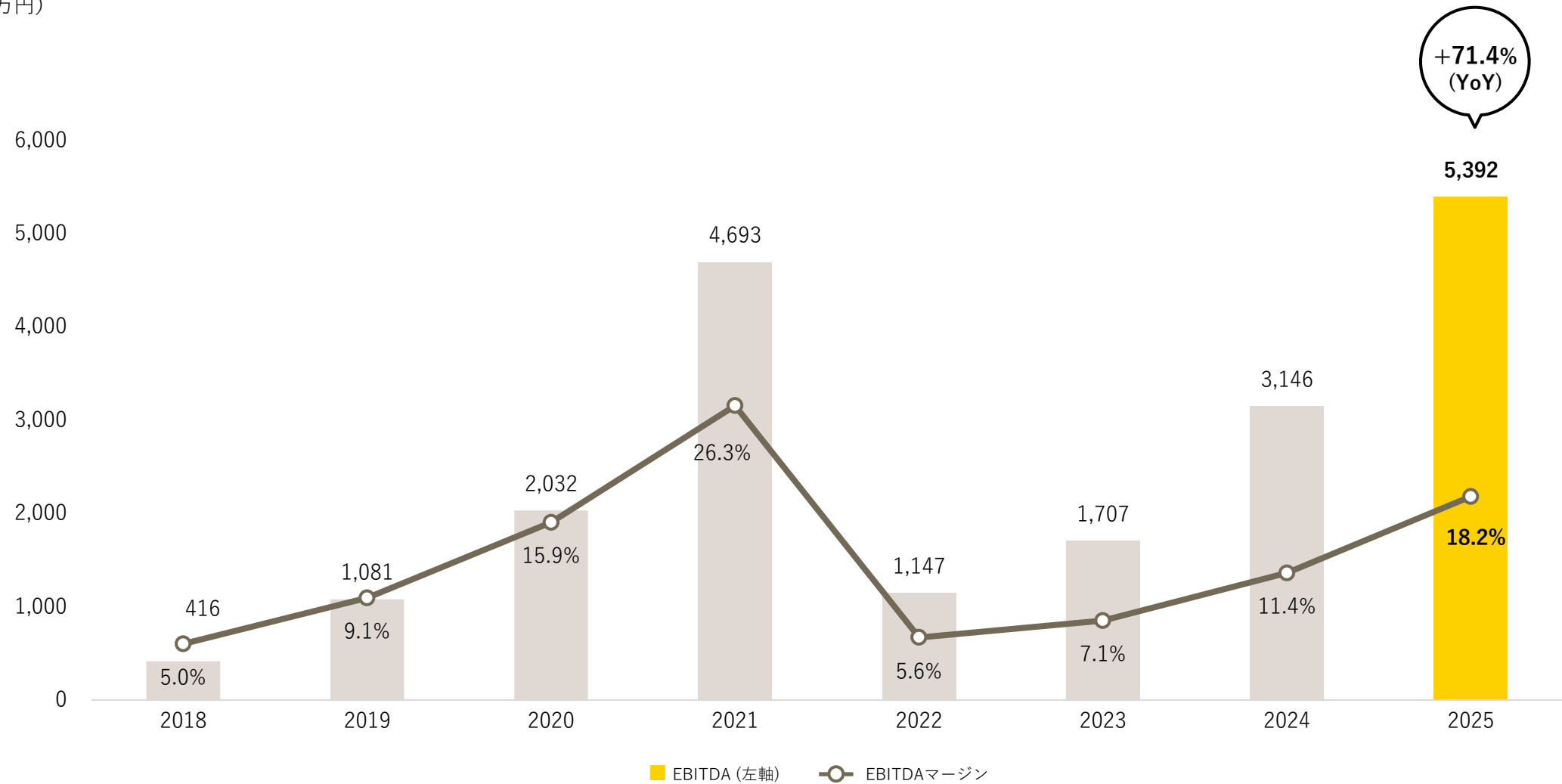


+7.1%
(YoY)

DX (ゆめみ) は2025年3Q以降、連結除外となりました

EBITDA推移

(百万円)

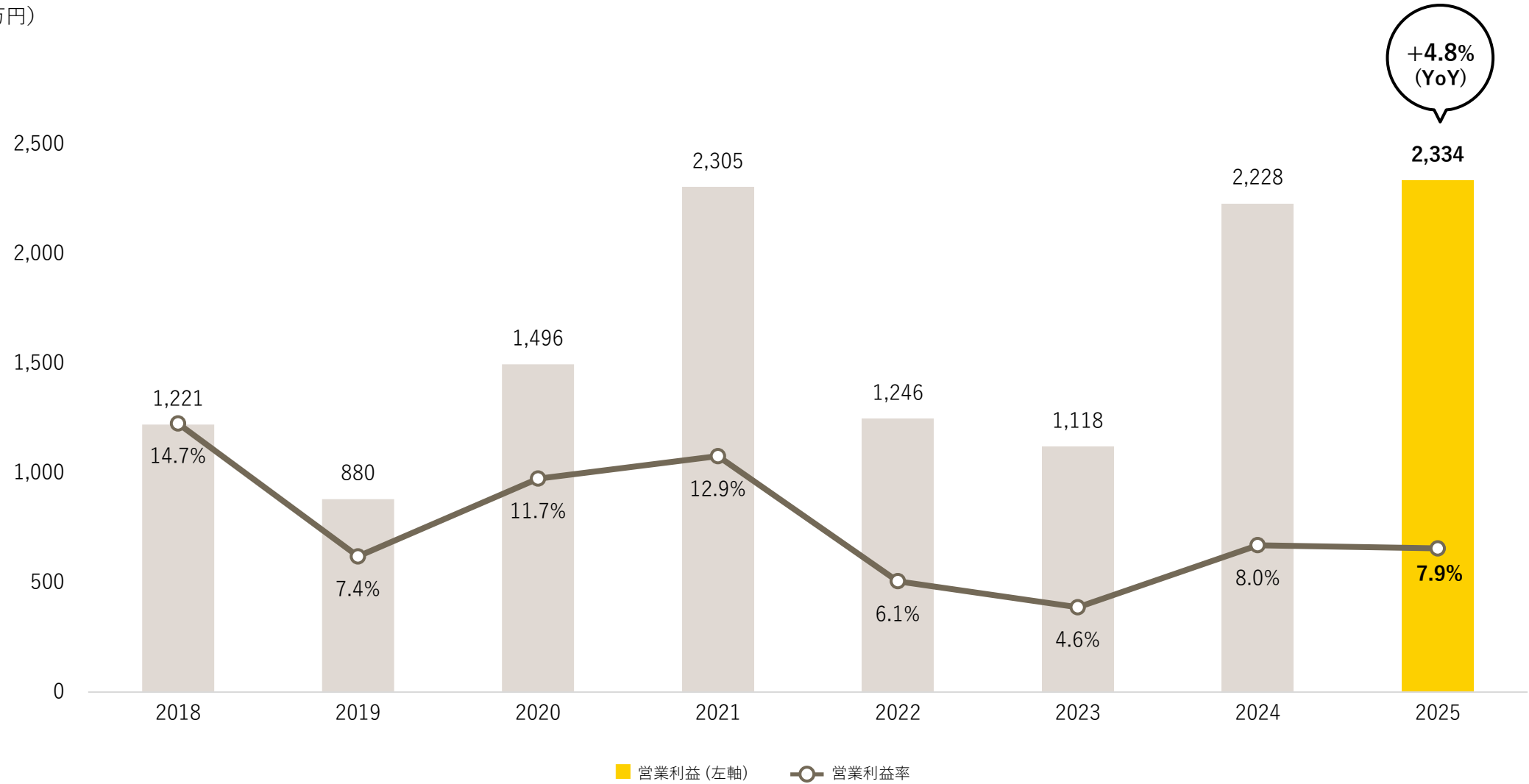


DX (ゆめみ) は2025年3Q以降、連結除外となりました

※ EBITDA = 税金等調整前当期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算) + 減損損失

営業利益推移

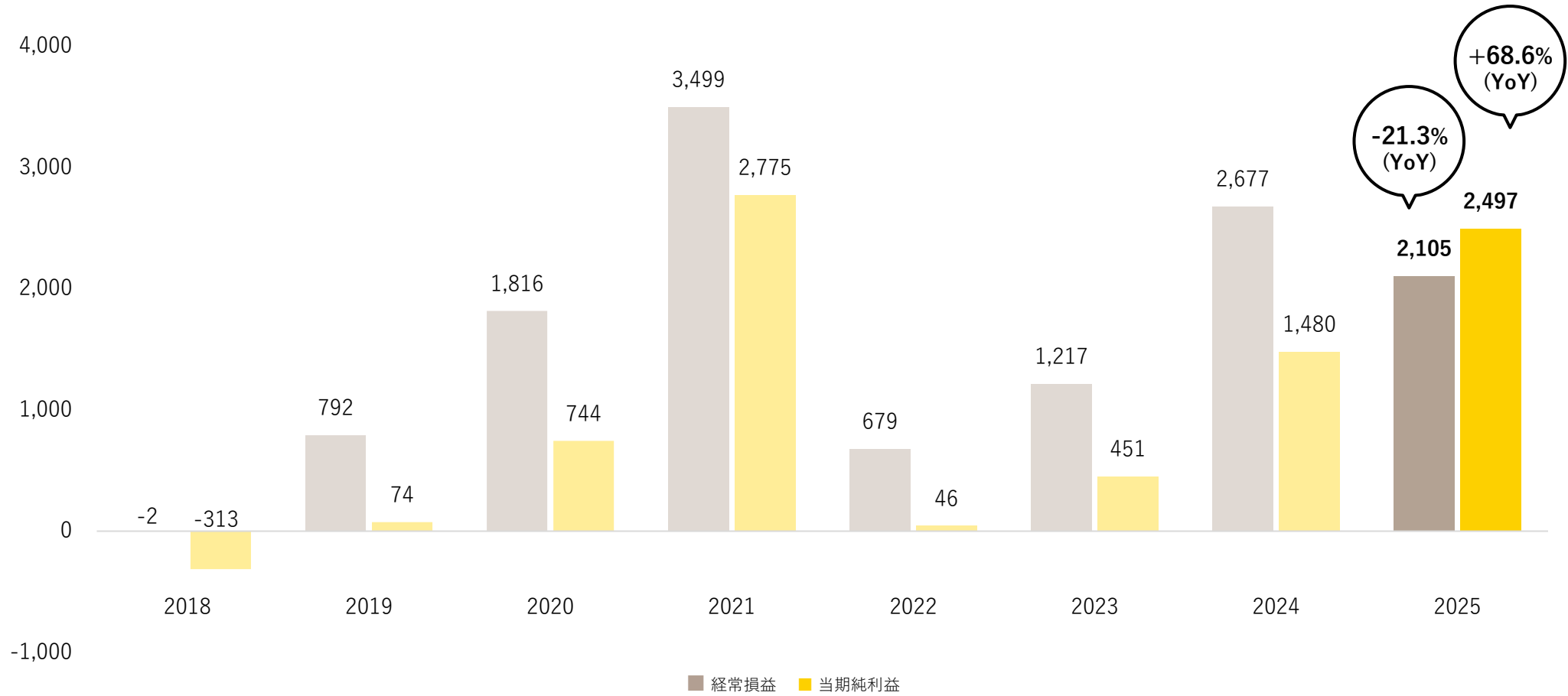
(百万円)



DX (ゆめみ) は2025年3Q以降、連結除外となりました

経常損益・当期純利益推移

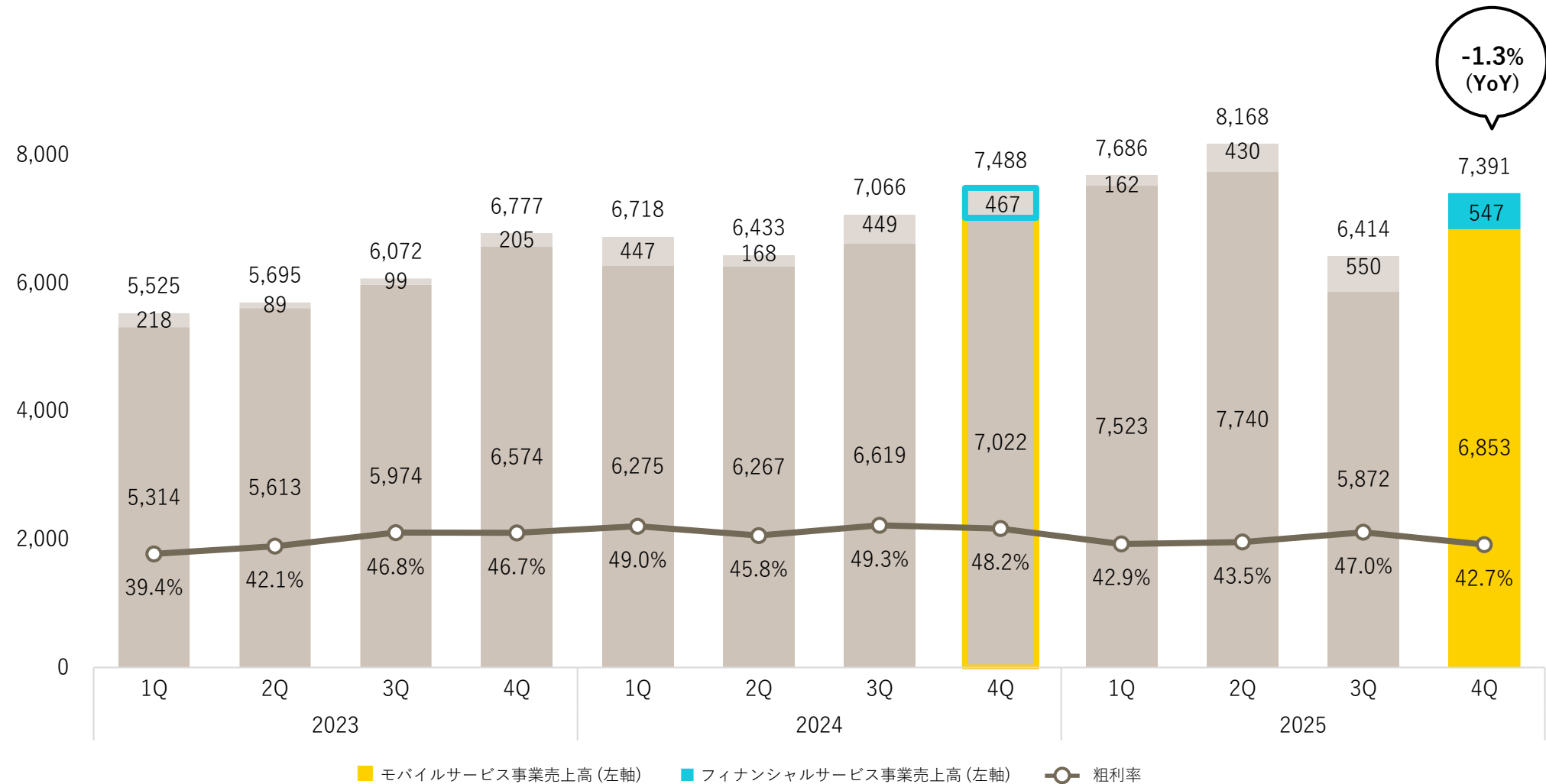
(百万円)



DX（ゆめみ）は2025年3Q以降、連結除外となりました

四半期売上高推移

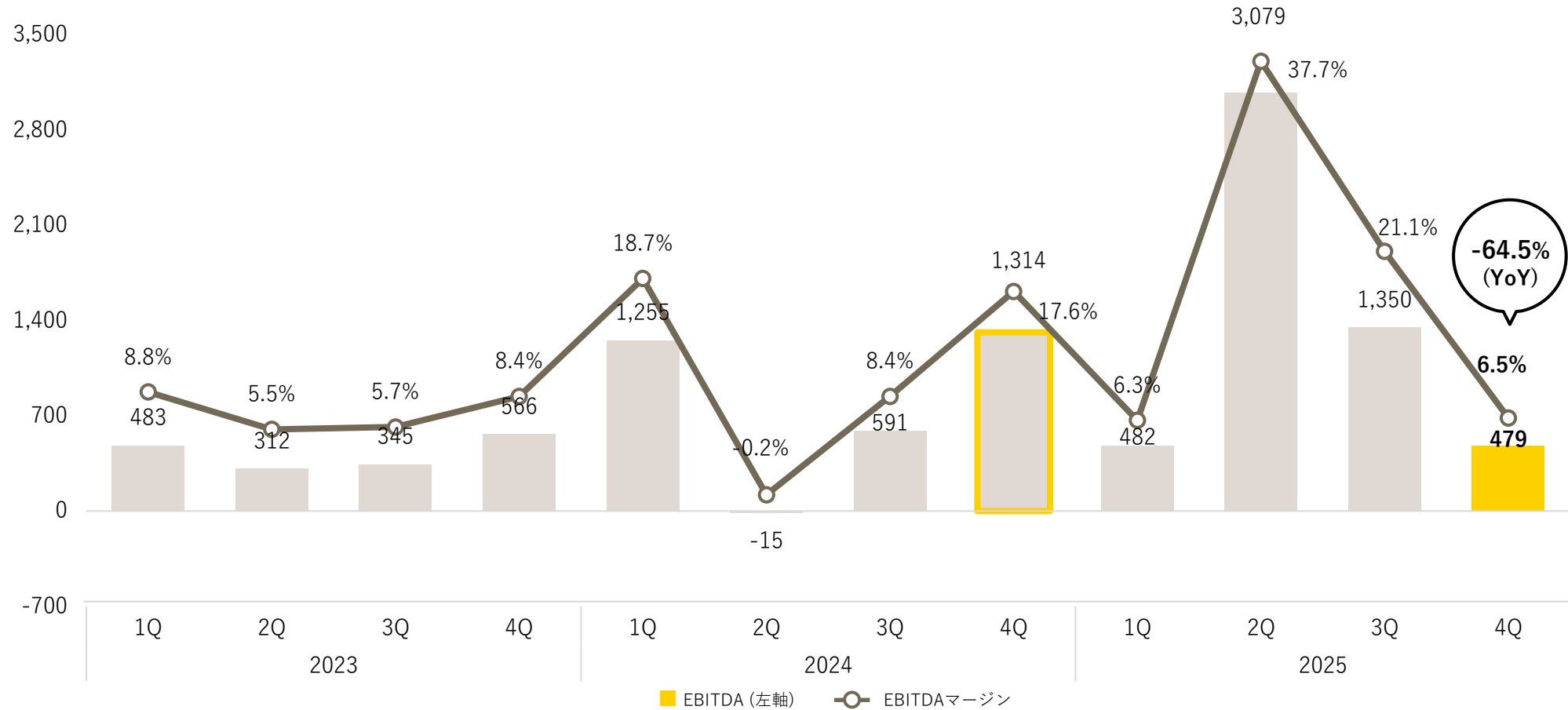
(百万円)



DX (ゆめみ) は2025年3Q以降、連結除外となりました

四半期EBITDA推移

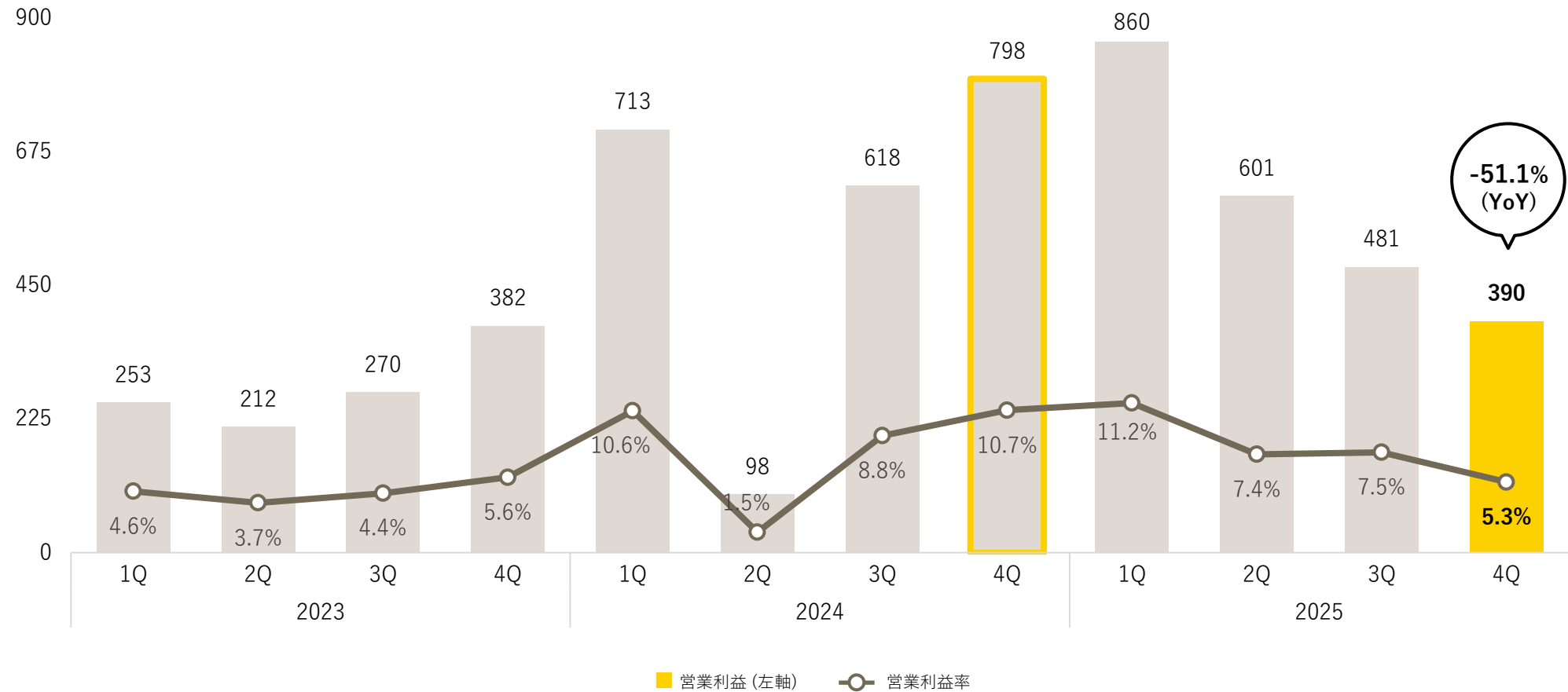
(百万円)



DX (ゆめみ) は2025年3Q以降、連結除外となりました

四半期営業利益推移

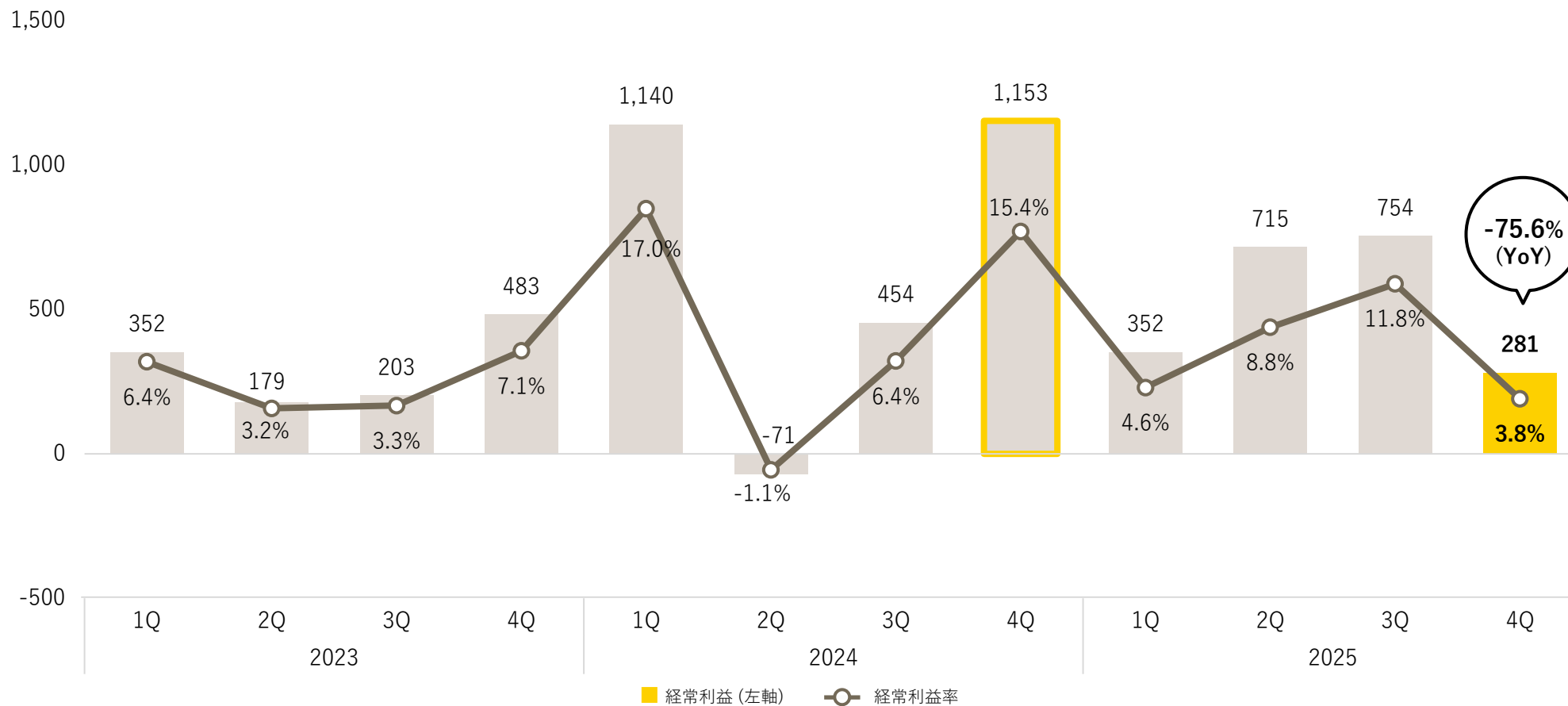
(百万円)



DX (ゆめみ) は2025年3Q以降、連結除外となりました

四半期経常利益推移

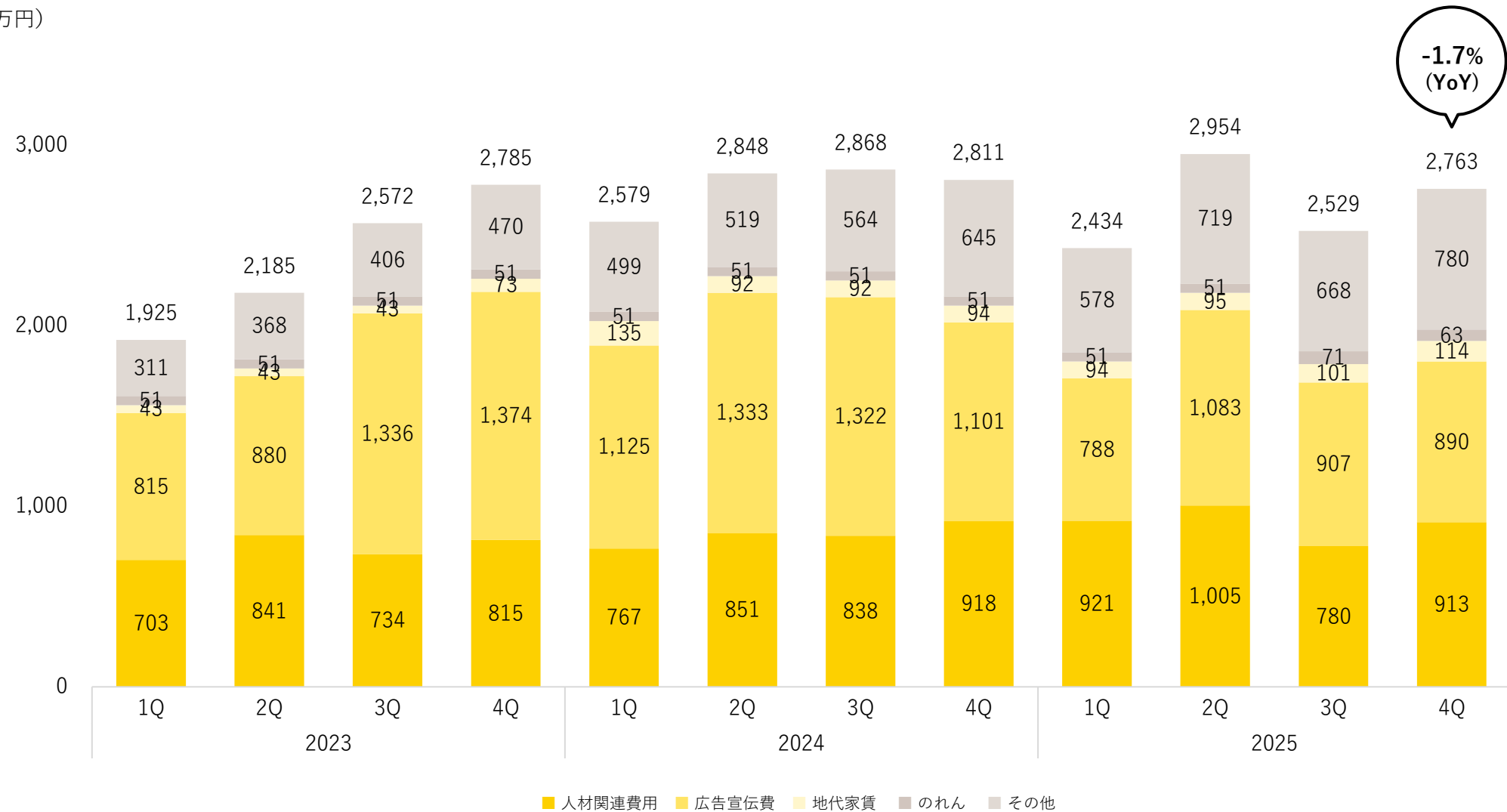
(百万円)



DX (ゆめみ) は2025年3Q以降、連結除外となりました

四半期販売費及び一般管理費推移

(百万円)

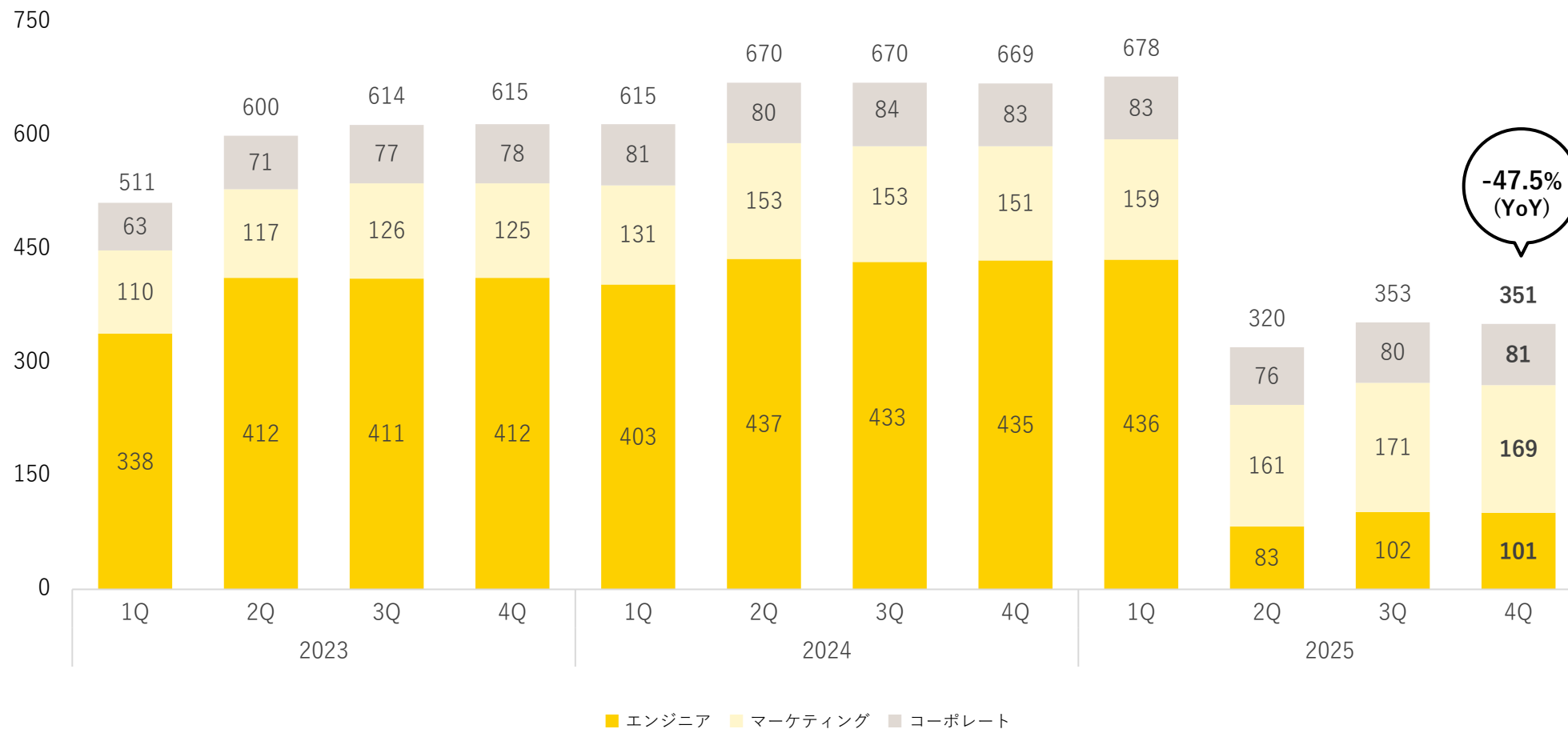


-1.7%
(YoY)

DX (ゆめみ) は2025年3Q以降、連結除外となりました

従業員数推移

(人)



DX（ゆめみ）は2025年3Q以降、連結除外となりました

※ 契約社員、派遣社員、アルバイト は含んでおりません。

四半期売上高

(単位：百万円)	2024年				2025年			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	6,718	6,433	7,066	7,488	7,686	8,168	6,414	7,391
モバイルサービス事業	6,275	6,267	6,619	7,022	7,523	7,740	5,872	6,853
ポイント	3,553	3,453	3,473	3,924	4,934	4,551	4,732	5,862
D2C	1,751	1,748	1,937	1,597	1,113	1,522	1,225	1,005
DX	983	1,125	1,244	1,510	1,481	1,671	-	-
セグメント内取引高	-13	-60	-35	-10	-7	-4	-85	-14
フィナンシャルサービス事業	447	168	449	467	162	430	550	547
セグメント間取引高 / 調整額	-4	-3	-2	-1	-0	-2	-8	-9

四半期営業利益

(単位：百万円)	2024年				2025年			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
営業利益	713	98	618	798	860	601	481	390
モバイルサービス事業	1,119	789	1,143	1,343	1,539	1,240	953	1,160
フィナンシャルサービス事業	-54	-412	-267	-256	-357	-237	-145	-338
調整額	-351	-278	-257	-289	-321	-401	-326	-431



お問い合わせ先

株式会社セレス

住 所 〒150-6221 東京都渋谷区桜丘町1番1号
渋谷サクラステージ SHIBUYAタワー21階
電 話 03-6455-3756（直通）
U R L <https://ceres-inc.jp/ir/inquiry/>
メー ル ir-info@ceres-inc.jp

将来見通しに関する注意事項

- 本資料に含まれる業績予想、計画、戦略等は、現時点で入手可能な情報及び合理的と判断される一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、経済情勢、市場環境、規制変更、競合動向、為替変動などにより、記載内容と大きく異なる可能性があります。
- 法律により要求される場合を除き、当社は本資料の内容を更新または修正する義務を負いません。
- 投資に関する最終判断は、本資料及び関連情報をご確認のうえ投資家ご自身の責任において行ってください。本資料に基づく投資により生じた損害について当社及び情報提供者は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。